

2024年度 事業報告書
社会福祉法人基督教児童福祉会愛隣園

2024年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。

- [1] 法人組織の強化と経営の透明性を図り、地域と利用者のニーズに対応した法人運営を効率的・効果的に行いました。
苦情解決委員会の外部起用による中立な第三者委員を活用し、利用者からの苦情及びニーズを書面での報告により適正に把握することに努め、必要に応じ面談を行い苦情解決に向けて取り組みました。また、家庭と仕事の両立を図れるよう、育児・介護休業制度の環境を整え、離職防止、働きやすい労働環境の改善に努めました。
- [2] 当期の事業運営につきましては、児童福祉事業は児童養護施設愛隣園(定員28名)及び、地域小規模児童養護施設の男子寮と女子寮の3棟(定員合計18名)の運営を行いました。
県補助事業を活用し被虐待児等地域療育支援・連携体制構築補助事業(こころサポート)の専任職員2名(療育支援コーディネーター、心理担当)を配置し、要保護児童の療育支援と里親への支援を行いました。
また、将来に向けた新規事業については、築55年の体育館の老朽化が年々進行し、コンクリート剥離が増え建替えが急務ではありますが、建築資材の高騰及び解体費用についてアスベスト建材が使用されていた場合に高額な除去費用となることが判明し、改築又は新たな活動の構想を持った小規模施設を視野に再整備を検討し、次年度から具体的に施設整備に向けて進めていきたいと思います。
施設運営において重要な人事は、人材確保、人材育成、働きやすい労働環境づくりについて、職員の協力と理解の支えにより、育児休業や介護休業を取得し安心して働き続けられる労働環境は整ってきていますが、代替要員の確保が容易ではないため職員定数を保つ自助努力は課題ですが、入所児童が安心して生活を送れるように支援体制を整えることができました。
- [3] 障害福祉サービス事業においてはワークセンター愛の園(定員40名)、グループホーム男子寮と女子寮の2棟(定員9名)の運営を行いました。
相談支援事業所じよいまーの事業について、障がい児(者)の計画相談と与那原町の委託相談を受託し、障がいのある方やその家族等から相談を受け、相談内容に応じて福祉サービスを受ける為の手続きや必要な情報提供、助言を行い関係機関との連携を図りながら、地域や利用者のニーズに沿った事業運営に取り組みました。
また、利用者の高齢化や親亡き後の問題に伴い、家族を含めたサポートが必要なケースが増え、身体的な健康の維持と最低限の生活保障がしっかり得られるよう行政や関係機関とも連携し、障がいを持った利用者、その家族が安心して日常生活を送れるよう、支援体制の強化や環境整備に取り組んで参りました。
- [4] 今期の総合的な収益(経常増減差額)は54,459,920円の増収、財産状況は43,335,953円の増額となりました。純資産は43,087,582円の増額で1,360,364,911円の登記となり、事業の継続性と財務状態は安定し順調に推移しました。詳細については会計報告で報告致します。
- [5] 2025年度の社会福祉充実残額は発生していない為、社会福祉充実計画は作成してません。

1. 事業運営

事業種別	2024年4月～2025年3月	定員
第1種社会福祉事業	①児童養護施設愛隣園	28名
	②地域小規模児童養護施設こひつじの家	6名
	③地域小規模児童養護施設ともしびの家	6名
	④地域小規模児童養護施設あかりの家	6名
第2種社会福祉事業	①障害福祉サービス事業ワークセンター愛の園	40名
	②障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム愛さ	5名
	③障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム美さ	4名
	④相談支援事業じよいまー	—

2. 役員・評議員の構成《2025年3月31日現在》

(1)役員:定数理事6名以上8名以内、監事2名(理事8名、監事2名)現員10名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席(書面)
理事長	上地 武	地域福祉実情者	2022年 6月10日	3(0回)
理事	根川 清義	地域代表者	1991年10月29日	3(0回)
理事	高里 鈴代	地域福祉実情者	2005年10月29日	3(0回)
理事	島 しづ子	地域福祉実情者	2021年6月11日	2(0回)
理事	仲地 みどり	福祉事業経営識見者	2021年6月11日	3(0回)
理事	金城 正典	地域福祉実情者	2017年6月20日	3(0回)
業務執行理事	仲宗根 岩雄	愛の園施設長	2006年 4月 1日	3(0回)
理事	上江洲 肇	愛隣園施設長	2019年 6月14日	3(0回)
監事	宮里 善博	財務資格者	2017年6月20日	3(0回)
監事	島袋 裕美	福祉事業経営識見者	2016年4月1日	3(0回)

(2)評議員:定数7名以上10名以内(評議員9名)現員9名、評議員会出席監事(2名)及び理事(3名)

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席
評議員	望月 智	教会関係者	2007年10月29日	0
評議員	又吉京子	福祉経験者	2009年10月29日	1
評議員	花城静子	福祉経験者	2010年10月22日	1
評議員	保良昌徳	学識経験者	2011年10月29日	1
評議員	比嘉美恵子	福祉経験者	2013年10月29日	1
評議員	砂川麻世	学識経験者	2015年10月29日	1
評議員	田場みどり	家族代表	2017年 4月30日	1
評議員	石川健一	地域代表者	2017年 4月30日	1
評議員	國吉 富貴子	地域代表者	2021年6月11日	1
監事	宮里 善博	財務資格者	2017年6月20日	1
監事	島袋 裕美	福祉事業経営識見者	2016年4月1日	1
理事長	上地 武	地域福祉実情者	2022年 6月10日	1
業務執行理事	仲宗根 岩雄	愛の園施設長	2006年 4月 1日	1
理事	上江洲 肇	愛隣園施設長	2019年 6月14日	1

(3)評議員選任・解任委員会(委員5名)現員5名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席
委員(監事)	島袋裕美	福祉経験者	2017年2月1日	開催無し
委員(外部)	知花 豊	福祉経験者	2021年6月11日	開催無し
委員(外部)	島村 聡	学識経験者	2021年6月11日	開催無し
委員(職員)	金城幸光	養護課長(愛隣園)	2017年2月1日	開催無し
委員(職員)	桃原 学	支援課長(愛の園)	2017年2月1日	開催無し

(4)苦情解決委員会(委員6名)

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席
第三者委員	宮国幸子	福祉経験者	2017年 4月 1日	4
第三者委員	久高 整	福祉経験者	2019年 4月 1日	4
責任者	仲宗根岩雄	愛の園施設長	2017年 4月 1日	1
責任者	上江洲 肇	愛隣園施設長	2017年 4月 1日	2
受付担当者	桃原 学	愛の園職員	2017年 4月 1日	2
受付担当者	金城 幸光	愛隣園職員	2019年 4月 1日	4

3. 理事会・評議員会及び監事監査及び評議員選任・解任委員会及び外部会計顧問の実施

(1)理事会の開催

第1回理事会 2024年5月28日(火) 場所:愛隣園会議室	第1号議案	2023年度事業報告並びに計算書類等の承認の件
	第2号議案	定時評議員会の召集日時、場所、議題等の決定の件
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
第2回理事会 2024年12月6日(金) 場所:愛隣園会議室	第1号議案	就業規則の一部改正の承認の件
	第2号議案	給与規程の一部改正の承認の件
	第3号議案	2024年度補正予算の承認
第3回理事会 2025年3月25日(火) 場所:愛隣園会議室	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
	第1号議案	定年後再雇用職員就業規則の一部改正の承認の件
	第2号議案	給与規程の一部改正の承認の件
	第3号議案	育児・介護休業規程の一部改正の承認の件
	第4号議案	役員等賠償責任保険契約の承認の件
	第5号議案	2024年度補正予算の承認の件
	第6号議案	2025年度事業計画の承認の件
	第7号議案	2025年度予算の承認の件
	第8号議案	次期苦情解決第三者委員の選任の件
	第9号議案	ワークセンター愛の園施設長人事の件
	第10号議案	業務執行理事の選定の件
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告

(2)評議員会の開催

第1回評議員会 2024年6月17日(月) 場所:愛隣園会議室	報告事項	2023年度事業報告
	第1号議案	2023年度計算書類等の承認
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告

(3)監査の実施

監事名	監査実施日・場所	監査項目
島袋裕美 宮里善博	2024年5月20日(金)場所: 愛隣園会議室	法人定款第19条の規定に基づき、2023年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況の調査

(4)評議員選任・解任委員会の開催:無し

(5)外部会計顧問調査の実施

委託先	訪問月日・場所	チェック項目
EY税理士法人	2024年4月9日(火) 場所: 法人事務所	前年度会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導 2023年度の会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導
	2025年1月14日(火) 場所: 法人事務所	2024年4月～2025年12月までの会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導

4. 役員研修の状況

実施年月日	研修名・場所	参加者(役員区分)	日数	研修内容
2024年10月9日(水)	沖縄県社会福祉大会 場所: 沖縄コンベンションセンター	上地 武(理事長)	1日	講話:『泉とオバーのよんな～笑って介GO～』をテーマとし、経済困窮や社会的孤立等の社会的課題及び高齢化の進展に伴う認知症高齢者の地域共生社会の実現について学びを深める。 表彰: 社会福祉関係者へ社会福祉への功労及び発展と貢献への表彰式参加

. 資産(土地・建物)等の状況

(1)自己所有資産の状況

	所在地	地目、構造及び用途	面積(㎡)	取得	担保
基本財産 (土地)	字与那原2943番地	宅地－施設用地	19182.08	S48.2.1	無
	字与那原2960番地	〃	915.39	S47.8.29	無
	字与那原2974番の1	〃	1164.96	S48.2.1	無
	字与那原2969番地	〃	689.49	S47.7.25	無
	字与那原2959番2	〃	19.10	S58.8.19	無
基本財産 (建物)	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート平屋建－体育館	507.83	S45.3.15	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート3階建－愛の園	817.36	S63.3.31	無
	字与那原2943,2969番地	鉄筋コンクリート平屋建－厨房棟	182.51	S55.6.30	無
	字与那原2943番の8	軽量鉄骨平屋建－店舗	24.12	H7.12.1	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート4階建－児童宿舎	2595.40	H13.9.18	無
	字与那原2943番の7	鉄筋コンクリート平屋建－分別場	70.58	H21.2.17	無
運用財産					
(1)土地					
(2)建物	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート造－苗置場	66.00	S38.7.1	無

(2)借地等の状況

	所在地	地目、構造及び用途	面積(㎡)	契約の有無(相手方)	
土地	字与那原浜田原2998-14	井戸敷地	21.44	有	沖縄総合事務局
	与那原町	駐車場	14.85	有	新垣契約駐車場
建物	与那原町	こひつじの家	117.25	有	神谷光信
	与那原町	ともしびの家	71.64	有	奥平絹子
	与那原町	あかりの家	106.86	有	玉城恒
	南風原町	グループホーム愛さ	71.13	有	浦崎隆子
	与那原町	グループホーム美さ	67.725	有	仲里武史

6. 公益的な地域貢献活動への取組状況

- ① 園庭解放及び電話やメール等により、地域の子育て家庭を対象とした相談支援
- ② 地域住民等へ体育館、グラウンド、遊び場、駐車場等を貸出し、地域福祉及び教育活動、防災活動を促進
(地域のクラブ活動、保育園行事、教会行事、消防署行事、葬祭時等)
- ③ 福祉人材育成活動として、福祉養成学校等の実習生の受入れによる福祉人材の育成
- ④ 児童虐待防止ネットワークへの参画(要保護児童対策地域協議会)
- ⑤ 障害の理解促進の取組みとして地域住民の交流による理解促進(バザー、町内外イベント参加)
- ⑥ 複数法人間連携事業への参画として、連携事業への参画による地域のセーフティーネット構築
(学校、警察、民生委員児童委員、町福祉課、町子育て支援課、町障害福祉課、町社協)
- ⑦ 災害時に備え、地域の災害時一時避難場所として指定し、地域住民と連携した防災体制の構築

7. 管理者会議、苦情解決委員会、その他の委員会の開催

(1) 管理者会議の開催

①管理者会議 2024年4月11日 (木)	①監事監査の件 ②第1回理事会開催の件 ③2024年度定時評議員会開催の件 ④事業報告・決算書承認後の諸手続きの件 ⑤社会福祉法人及び社会福祉施設一般監査の実施結果の件 ⑥津波警報に伴う業務等の件 ⑦愛隣園創立70周年の件
②管理者会議 2024年5月7日(火)	①指導監査結果の是正・改善状況の報告の件 ②中型免許取得費用の一部助成の件 ③給与改定の件 ④第1回理事会開催の件 ⑤2024年度定時評議員会開催の件 ⑥人事の件
③管理者会議 2024年6月7日(金)	①監事監査結果の報告の件 ②2024年度定時評議員会開催の件 ③2025年任期満了の苦情解決第三者委員、理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員の件 ④給与の件 ⑤後援会役員の件 ⑥人事の件
④管理者会議 2024年7月18日 (木)	①任期満了の役員等の件 ②役員改選における理事会等開催の件 ③人事の件 ④一般事業主行動計画の件 ⑤2025年4月1日施行育児介護休業法改正の件
⑤管理者会議 2024年8月8日(木)	①任期満了の役員等の件 ②理事会等開催の件 ③育児介護休業法改正の件 ④給与規程の一部改正の件 ⑤最低賃金の引上げの件 ⑥人事の件
⑥管理者会議 2024年9月20日 (木)	①第45回愛隣園福祉バザーの件 ②最低賃金の改正の件 ③社会保険適用拡大の件 ④給与規程の一部改正の件 ⑤苦情解決第三者委員候補者推薦の件 ⑥評議員候補者推薦の件 ⑦育児・介護休業法改正の件 ⑧就業規則の一部改正の件 ⑨人事の件
⑦管理者会議 2024年10月10日 (木)	①育児・介護休業法改正の件 ②給与規程の一部改正の件 ③2024年度第2回理事会の開催の件 ④2024年度第3回理事会の開催の件 ⑤2025年度第1回理事会の開催の件 ⑥老朽化に伴う体育館の改築の件 ⑦人事の件
⑧管理者会議 2024年11月7日 (木)	①育児・介護休業法改正の件 ②給与規程の一部改正の件 ③就業規則の一部改正の件 ④2024年度第2回理事会の開催の件 ⑤老朽化に伴う体育館の取り壊しの件 ⑥2024年度第3回理事会の開催の件 ⑦2025年度第1回理事会の開催の件 ⑧愛隣園福祉バザーの件

⑨管理者会議 2024年12月5日 (木)	①2024年度第2回理事会の開催の件 ②2024年度第3回理事会の開催の件 ③老朽化に伴う体育館の取り壊しの件 ④2025年度第1回理事会の開催の件 ⑤愛隣園福祉バザーの件
⑩管理者会議 2025年1月9日(木)	①一般監査実施の件 ②施設整備の件 ③2024年度第3回理事会の開催の件 ④2025年度監事監査の実施の件 ⑤2025年度第1回理事会の開催の件 ⑥評議員選任(解任)委員会の開催の件 ⑦2025年度定時評議員会の開催の件 ⑧2025年度第2回理事会の開催の件 ⑨労働契約の件 ⑩2025年度人事の件
⑪管理者会議 2025年2月6日(木)	①2025年度人事の件 ②育児・介護休業法改正の件 ③2024年度第3回理事会の開催の件 ④2025年度監事監査の実施の件 ⑤2025年度第1回理事会の開催の件 ⑥評議員選任(解任)委員会の開催の件 ⑦2025年度定時評議員会の開催の件 ⑧2025年度第2回理事会の開催の件 ⑨三六協定の締結の件 ⑩2024年度職員表彰の件
⑫管理者会議 2025年3月13日 (木)	①2025年度人事の件 ②2024年度第3回理事会の開催の件 ③2025年度第1回理事会の開催の件 ④評議員選任(解任)委員会の開催の件 ⑤2025年度定時評議員会の開催の件 ⑥2025年度第2回理事会の開催の件 ⑦2024年度社会福祉施設一般監査の実施結果の件 ⑧三六協定の締結の件 ⑨2024年度職員表彰の件 ⑩2025年度辞令交付式の件

㊦ 苦情解決委員会の開催

①苦情解決委員会 2024年4月10日(水)	①2024年3月～4月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
②苦情解決委員会 2024年7月10日(水)	①2024年4月～7月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
③苦情解決委員会 2024年10月10日(水)	①2024年7月～10月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
④苦情解決委員会 2025年 1月15日(水)	①2024年10月～2025年1月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等

2024年度児童養護施設 愛隣園 事業実績報告書

1. 「主な取り組み事項」

(1) 職員体制等について

組織力を高め、事業運営を円滑に推進していくため、各ホームに主任を1名配置し、それぞれ所属ホームを統括することを継続しました。

ホーム職員の意見吸い上げ、管理者の方針などを職員に周知していくことがスムーズになっており、全体としても定着しています。

定例の養護課会議や必要に応じて開催する臨時会議を通して、全体会議での協議事項や迅速に対応すべき事柄などについても適切に対応できるよう継続しました。主任がホームの意見をまとめることにより、ホーム運営、児童への支援、チームケアなどが昨年度同様にスムーズに行えるようになっていきます。しかし、口頭、文書の引継ぎや確認だけではうまく伝達できていない事案もあったので、チームズ等を活用した方法を取り入れてみました。まだ活用し始めたばかりなので、定着するように活用していきたいと思います。また、職員配置基準の弾力的運用に伴う採用拡大により、本体5名の担当者に補助職員1名を活用した1ホーム6名体制を整えるよう継続しましたが、補助職員の確保はできたものの、年度後半に介護休暇を取得したことに伴い、代替募集を行っても確保が難しく、夜間の2名体制を継続するために勤務が厳しい状況も見られました。特に個別対応が必要な児童については、事務所職員も含め個別対応を行い、より丁寧に児童の発達に合わせた余暇時間の過ごし方を意識して取り組んできました。また、地域の児童デイの活用を行い、発達障害を抱える児童の支援について充実できるよう継続して取り組みました。

今年度は、9名の入職、退職が10名（療育コーディネーター、こころサポ心理士、指導員、保育士）となり、出産後もいかに継続して働いていただけるか、人員確保にはとても課題を感じました。特に、職員個人の児童との関係性のことではなく、チームケアとして他の職員とうまくいかないケースもあり、初任職員の育成、コミュニケーションや経験豊富な職員の人材育成に対する意識の向上など、施設の垣根を超えた研修などの必要性を感じました。

本年度も将来のケア単位の小規模化、職員の定着率を向上させる目的で2名の非正規職員を正規登用することや、新たに1名を正規職員採用するができました。児童らの支援の連続性、地域分散化の人材確保をするためにも、予算との兼ね合いを勘案しながら、継続して職員の正規登用を検討していきたいと思います。更に、国より事務費（人件費）に関する処遇改善（若い世

代の給与見直し、全体の賞与見直し）の措置費増額があり、基本給、賞与の見直しを行い、4月から遡及して支給することができました。また、人材確保において重要なホームページの見直しを行い、新たに開設することができました。今後、有効に活用できるよう整備していく予定です。

職員採用については、平等且つ適切に対応するため、「職員採用マニュアル」を活用することになっており、非常勤も含め初任者研修を継続しました。従来の関係法令、法人理念等に加え「児童養護施設運営ハンドブック」を活用した具体的な支援について初任者研修を実施することにより、施設内暴力の防止や児童とその家族の理解など、人材育成を充実できるよう取り組みを継続しました。各種研修については、ほぼ対面で行うことができ、九州児童養護施設職員研究大会、全養協の権利擁護研修、沖縄県児童養護研究大会、沖縄県児童養護協議会初任者研修などに多数の職員が参加することができ学びを深めることができました。

利用者の権利擁護については、沖縄県版権利擁護ガイドライン「より良い支援の実現に向けて」を活用したオリエンテーションの実施や、令和6年度の児童福祉法改正施行に伴うアドボカシー導入の義務化を踏まえたモデル事業を県や実施団体からの要請に応じて継続して実施し、アドボカシー制度の意図や目的などの研修を実施しました。しかし、発達に課題を抱えるこどもへの圧力的で不適切な関わりが2件発生し、児相、県を交えながら研修、面接を重ね、発達の特性があるこどもたちへの関わりについて更に学びを深める必要を感じる一年でした。

今年度も、社会福祉援助技術実習の受け入れを1名行い、実習指導担当者、管理者と協働して実習プログラムを作成し、大学側と協議しながら実習受け入れを行うことができました。実習を担当する職員は、社会福祉士資格保持且つ資格取得から3年の経験、更に社会福祉援助技術実習指導者研修受講が義務づけられており、受け入れ体制を整えるため、指導者研修については予算を組み社会福祉資格保持者へ受講を奨励してきました。今後も継続して学生に施設に興味を持っていただけるよう援助技術研修受け入れへ向けて取り組んでいきたいと思ひます。

卒園した児童のアフターケアや卒園を前にした児童へのリービングケアを行う「自立支援担当職員」の配置により、進学、就職を視野に入れた面談やアンケートなどによる具体的な取り組みが継続できました。貸付制度の活用などもあり、卒園後の状況を把握できることで、卒園後の支援も必要に応じて対応できるようになっています。今年度も、卒園児の再就職に伴うアフターケアなどを必要に応じて行い、卒園児が新たな生活をスタートすることができました。また、地域の商工会議所と連携し、就労体験などを継続する

ことにより、児童らの社会生活に対するイメージづくりや就労体験を通した経験が自信につながるケースも見られています。地域の子どもたちを見守るための集まりにも参加し、地域の子どもたちへ向けても各関係機関と連携して取り組める体制づくりや国が示す地域支援を目指していきます。特に地域自治体が施設に委託できるようになったショートステイ、トワイライトステイについては、町担当課と話し合いを持ち、地域の対象枠を拡大して実施する必要があるか協議しています。

今年度も苦情解決委員会として、第三者委員と苦情受付担当者、苦情解決責任者を交えた話し合いにて利用者の苦情や要望について検討する機会を設けました。アドボカシー制度導入により、毎月開催の委員会の必要性について第三者委員からの要望により、年4回程度の委員会開催と緊急開催を実施してみることにになりました。ただし、継続して利用者からの苦情、要望はすべて報告することができ、適切なアドバイスもいただきながら取り組んできました。

今年度も、見回り簿のチェック箇所の明記で戸締りの確認の強化、児童へのアンケート実施、小集団、個人面談の性教育の実施、心理士による性教育の実施、遠藤先生を講師としたSV研修として「施設内暴力防止のための研修」を実施しました。

(2) ホーム体制について

今年度も、本体28名定員の2ホーム体制としました。1ホーム6名の職員を配置し（内1名は平日の夕方から夜間までのパート）、幼児から高校生までの縦割で1ホーム定員は14名を継続しています。また、担当制を継続することで、児童の個別的な支援の充実に努めるとともに、夕方17時から夜間22時までの時間帯を職員2名体制とし、幼児の入浴、食事、寝かしつけの支援や年少児、高齢児に対しても丁寧に対応できるよう継続しました。夜間2名体制だと、ゆったりと子ども達に関わることができ、問題行動に対する迅速な対応、夜間の見廻り等の対応が継続できています。

担当者だけのローテーション勤務では2名体制を維持することは困難であり、補助員の活用によって体制を維持してきました。しかし、育児休業、介護休業の代替職員確保が難しく、2名体制を行うには勤務状況が厳しくなり、何かあった場合の代替職員等も含め、継続して体制を整えていく必要がありますが、事務所職員のヘルプでこなしている状況です。職員が遠慮なく安心して産休・育休がとれるよう体制を充実しなければならない反省がありましたので、代替要員が確保できない状況を踏まえ、現存職員が担う部分にどう手当てができるかも含めて検討していきたいと思います。また、様々な障がいを抱える児童の増加もあり、2名体制でもきめ細かな対応が難しい部

分もあるため、個別に愛着を形成するためにもケア単位の小規模化を図ることが大きな課題となっています。しかし、小規模化にも距離の近さや指導的になり過ぎないように配慮が必要であり、職員のバーンアウト、児童同士、職員と児童の相性からくる課題など、丁寧に議論を深めながら取り組む必要性があります。今年度は、「社会的養育推進計画」の見直しに伴い、沖縄県全体の小規模化、地域分散化について主管課を中心に関係機関も含めて話し合いを重ね報告書が作成されました。

国が示す地域支援や更なる小規模化、地域分散化に応えるためにも人材確保、人材育成は大きな課題となっているため、正規登用も含め今後も早期に準備を進めていけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

(3) 幼児の集団支援について

今年度も、「幼な子の家」の対象児童がいなかったため、担当する専任担当者を配置しませんでした。しかし、緊急一時保護児童の対応について、事務所職員を中心に個別対応できるように取り組みました。幼児の集団支援については、地域の一員として児童が育まれるよう、二重措置が困難である現状の改善について継続して声をあげていきます。社会的養育推進計画のもと、幼児は里親家庭に委託される傾向がある中、親の意向や兄弟分離の課題により幼児の打診もあったため、様々なケース受け入れの想定をしながら人員配置などの準備をしていきたいと思ひます。

(4) コロナウイルス対応について

コロナウイルス蔓延防止及び対応について、対応マニュアルに沿って対応し、感染者も収まりを見せ、集団感染は防ぐことができました。

職員に対しては「特例に関する給与規定細則」に基づき手当を継続して支給しました。

2. ケア単位の小規模化・地域分散化について

地域小規模児童養護施設「こひつじの家」(定員6名 男子棟)と「ともしびの家」(定員6名 女子棟)、「あかりの家」(定員6名男子棟)を継続して運営し、個別に関われることで個々の児童の状況に合わせて支援できている、児童らも自分の居場所として概ね順調に推移しています。しかし、距離が近すぎる故の関係性の悪化や発達に課題を抱える児童の入所による対応の難しさなど、大きな課題も出てきています。職員配置を5名とし、ホームを総括する主任を1名ずつ配置していますが、その場で支援の判断を行うことも多くなり、職員にとっては力量が問われる場面も増えるので、柔軟な対応ができる体制づくりが急務となっています。

今年度は、「社会的養育推進計画」の見直しに伴い、沖縄県全体の小規模化、

地域分散化について主管課を中心に関係機関も含めて「社会的養育推進計画策定委員会」として話し合いを重ね報告書が作成されました。小規模化、地域分散化については、職員の確保、勤務体制の軽減、ハード面整備に伴う財源確保はとても大きな課題となっています。特に人員が揃っていても、男子棟、女子棟を担う職員の性別や課題など、より家庭的な雰囲気近づけることができるよう様々な角度から話し合いが必要と感じています。そのことを踏まえ、県との策定委員会にて、支援が丁寧に柔軟的にできる体制や見直しが必要であるということを提案しているところです。

3.事業の実施状況

養護目標・・・自主性を育む

《重点努力目標》

- ・褒める場面を増やし、自己肯定感を高める
- ・日々の生活の中で感謝と思いやりの気持ちを育てる。
- ・自ら考え行動できるような言葉かけを行う。
(指示的な言葉かけだけにならない)
- ・気持ち良いあいさつを通して社会性を育む。

①各項目の養護反省（全体）

（１）基本的生活習慣

就寝起床時間や朝の当番・お手伝い、テレビの視聴時間などについて子どもたちと話し合いながら、基本時間を設定し、各ホームや児童集会などで確認し合い実施しました。

幼児や年少児に対しては、いつでも気持ちよい就寝、起床ができるように絵本の読み聞かせや起床の声かけを丁寧に行い、早寝早起きを習慣づけるように支援しました。また、洗面、食事等の支援も児童の発達状況に合わせて行い、部屋の清掃等きれいな生活空間を提供する中で、気持ちの良い生活体験を通して自立を支援しました。特に高齢児については、できる限り個室が利用できるよう配慮し、個々の課題に丁寧に取り組めるよう継続して支援を行いました。

洗たくや自室の清掃等をそれぞれの発達段階に応じて支援し、労作や日常のお手伝いの中で勤労意欲を向上させるように努めたところ、楽しく労作活動等ができることが定着しています。

金銭管理については、小遣い帳をできるだけ自分で記帳させ、いつでも閲覧できるように配慮し、自分で金銭管理ができるようにしました。その結果、お金の使い方を工夫する児童も多くなっていますが、これまでの家庭環境から金銭感覚が育ちにくい児童も増加し、高齢児に対する社会に見合った金銭にまつ

わる学びの場を増やす必要を感じています。今後は、卒園後を見据え、金融の専門家を講師とした研修などを計画しています。また、高校生が社会体験も含めたアルバイトをし、卒園後の準備金として貯蓄することができました。

アルバイトによる社会体験により、対人関係において社会性が乏しい児童も成長が見られ、課題とされるコミュニケーション能力が向上することができました。ただし、発達に課題を抱える児童にとってはアルバイトできる場所を探すだけでも大変で、コミュニケーションが苦手な分継続することも厳しい状況です。その児童の発達に応じた就労体験ができるよう工夫と体験先の開拓が必要となっていますが、地域の企業も含め協力的な企業が増加しています。また、携帯電話の所持及び使い方や帰宅時間などルールに関しても要望を出す児童も出ているので、説明とルールを共有していますが、なかなかルールを守れない児童もいるため、携帯電話、ネット活用については職員も継続した学習をしながら、児童の要望にどう応えていくか話し合っているところです。

虐待などで心に傷を抱え、自己肯定感が低い児童が多い中、併せて知的障害や発達障害を抱える児童が増加しています。しかし、障害や虐待によるトラウマの特性上、日常生活や学校生活で注意を受けることが多く、児童らの自己肯定感を高め、児童本人の生きる力や様々な意欲に繋がるような支援をより充実させる課題に対し、それぞれの児童の得意な分野において部活動やクラブ活動を奨励し、個別に作業時間や創作活動を設定して認められ体験を増やしてきました。また、個別支援を行い、障害を抱える児童の支援の充実に取り組み、児童デイの活用などにより個別に発達支援ができるようになりました。継続して取り組んでいきたいと思えます。しかしながら、日々の生活をこなすのに精一杯となり、個々の児童の特性に見合った声かけや関わり方など、私たちが学ばなければならない部分も課題として見えた一年でした。

また、どのような職員体制、生活単位がそのような児童にとって生活の質と支援の向上に繋がるのか、継続して考えていきたいと思えます。

(2) 余暇活動

コロナウイルスやインフルエンザも落ち着きをみせていたので、年齢、発達に応じた横割のプログラムを実施しました。(夏季キャンプ等)。また、多くの招待などに参加できたことは、子どもたちにとって貴重な体験をする機会となりました。今年度も遊具などのご寄贈など、子どもたちの余暇活動を充実できるようなご寄贈が多く、社会の皆様の温かいお気持ちに救われた一年でした。

学校の部活動やクラブ活動及び地域のサークル活動(サッカー等)への参加を奨励しているところ、続けて頑張る児童の自信や自己肯定感の向上に繋がっています。また、職員も部活動やクラブの父母会へ積極的に参加し、児童が地域の一員として大切にされ、好きな部活動やクラブ活動が継続できるようにサ

ポートしていきます。今年度も、小学生の地域のクラブ活動については職員が父母会として関わることになるため、すべての土日、祝祭日に対応しなければならず、担当職員の勤務負担が増えることが課題となりましたが、ホーム間で調整するなど工夫しながら今年度も地域の父母の協力のもと、やり通すことができました。

(3) 児童自治会活動

小・中学生は児童集会を持ち、当園のニュースなどの表紙や挿絵に選ばれた児童などに図書券をプレゼントし、意欲を向上させるよう取り組みました。積極的に絵に興味を示す児童が増えており、褒められることの中で自信をつける良い機会となっています。意見箱の活用について児童集会や入所時のインテークにて適宜説明を行い、意見表明や苦情の申し出が活発になるよう話し合いました。また、アドボカシー制度の中で、職員の勉強会、児童への説明会、意見表明の取り組みを実施しました。今後は、県が示しているアドボカシー制度の審議会のあり方が構築される中、児童の意見表明が保障されつつ、職員が適切な児童との関係性が強化できるような取り組みを目標にしていきたいと思います。

意見箱に書かれた内容については第三者委員に開示し、苦情解決委員会にて助言などを得ながら児童への回答を行ってきました。児童の希望によっては、第三者委員と児童が面接を行うことやお手紙が欲しいなどの要望が選択できるよう取り組みを継続しています。

中高校生については、部活動やアルバイトでなかなか自治会を活性化できない状況にあるため、小集団や個別の話し合いを増やし、児童の声を吸い上げるようにしてきました。児童から日常の門限時間、携帯電話の取り扱いについて意見が出ていたので、全体の約束事も含め子どもたちが自分の生活の場として認識できるよう継続して話し合い、委員会活動の中に位置づけることで、現場の職員と児童で話し合いができるよう目指しています。

キャンプは、児童らと話し合いながら、児童らが要望する内容に沿って計画・実施できました。自立のために必要なスキルやネットの効果的な活用方法など、自立支援プログラムにて外部講師の研修を卒園生向けに実施することができました。児童らの意見を良いかたちで生活に反映できるよう継続して取り組みを行いたいと思います。

また、中高校生の入所も増加しており、入所前に丁寧に施設にあるルール必要性、権利擁護の取り組み、進路の選択などの説明を行う必要性を強く感じており、インテーク用のパンフレットを作成、活用し実施する中で、入所前から高校生の意見を吸い上げることができるよう継続して取り組みました。

ただし、発達に課題を抱える児童によっては、生活のルールそのものをなか

なか理解することが難しいため、そのような児童に対してどう理解できるよう継続的にどう伝えていけるか、支援する側の私たちのスキルなどを高める必要性を感じています。

（４）性（生）の尊厳

アドボケイト導入の際にCAP大人ワーク、子どもワークを実施できました。ただし、個別の性教育は継続して行い、性的事故を防げるよう生活場面で性的な課題となっている部分について話し合い、職員の性や人権に対する意識を高め、生活場面での関わり方で職員が意識してよりよい言葉かけができるように取り組みました。また、チェックリストを活用し、施設全体でどこか課題となっているか検証作業を常に現在進行形で検討するようにしています。

これまでの取り組みの中で職員も一緒に性について学ぶ機会となり、生活の場で子どもたちへの適切な支援ができるよう意識付けがなされており、来年度もより良い性（生）の研修を考えていきます。また、研修だけに留まることがないように、職員の意識、技術の向上を目標に今後も取り組みを続けていきます。

（５）社会化の促進

学校PTA及び地域PTAの係を輪番制で一ホームが担い、継続してPTA活動に積極的に参加しました。

今年度も愛隣園福祉バザーが開催でき、地域の方々とボランティア活動を通して関わりが持てました。

体育館などの施設を地域の行事やスポーツ活動に開放し、地域の活動に協力してきました。地域の民生委員や小中学校の初任者研修等の見学、施設説明の受け入れを再開し、学校や地域の民生委員の方々と関係強化を図りました。

週に１度の礼拝を教会やホームで行い、教会との連携を図り、教会で行われる行事（クリスマス、イースター、キャンプ、土曜クラブ等）への参加も継続できました。

これからも地域との繋がりを大切にし、地域へのボランティア活動や共同のプログラムを通して、児童が地域の一員として成長できるような環境づくりを目指していきます。

（６）施設機能の強化

施設機能強化推進費を有効に活用し、県内外への専門的な研修へ職員が参加することができました。

県外での研修においては、児童養護施設がこれから向かう方向性、より複雑化するニーズに対する支援のあり方等、全国的な取り組みや課題などを学ぶ機会となるため、他施設との情報交換の場としても継続して取り組んでいきたいと思います。

新たな職員が増加する傾向にあるので、継続して研修を実施し、ケースの見立てのみならず、自立支援計画の策定と活用まで児童の支援に生かせるような研修の計画を立てていきたいと思います。

また、「こころサポート事業」の嘱託医である尾野先生をSVに迎え、個々のケースについてケース検討会を重ね、支援の方法について学習を続けてきました。特に、発達障害、無気力、虐待によるPTSDを抱える児童への関わり方について学びを継続できました。

今年度は、県が児童養護施設職員資質向上事業を実施できず、来年度は開催の方向で検討されているので、計画的に「地域分散化」「高機能化」へ向けた二つの研修を受講できるよう検討していきます。この研修への参加により、どの職員もリーダーを担えるよう継続して取り組んでいきたいと思います。

新設された「こども家庭ソーシャルワーカー」養成については、県の補助制度が実施されず、受講希望者も多額の受講費、渡航費が伴うことで厳しい状況でした。来年度は補助費を検討しているとのことなので、2名の希望者がいるので、前向きに学び受講、取得できるようサポートしていきたいと思います。今年度は、進学、就職する4名の児童のうち、後援会より全員に対して自動車免許取得のための支援をいただきました。継続して、各児童の希望に沿った進路を選択できるよう各制度の活用、当園の後援会からの支援金制度の整備等をお願いし、児童が夢を持って進学、就職の選択ができる体制を整えて充実させていけたらと思います。

リービングケアについても、厚労省からの配置が求められている自立支援担当職員を活用し、自立支援プログラムの参画と実施、企業との連携など、社会に出るために必要な知識、経験ができるよう取り組みを継続させていきたいと思います。また、卒園後のアフターケアについても、再就職活動支援を行い、児童が孤立せずに再就職の道が選択できるよう支援を行いました。卒園後に自動車免許取得などが必要な児童に対しても支援を行い免許取得できるようにしました。

卒園児には、家賃滞納など生活苦に陥るケースもあり、インケアから社会生活の実際に関わる学びの場を提供するなど、アフターケアと連続する支援の在り方を考えなければならない部分と、高齢入所となり卒園まで時間がない中で
の支援の在り方について課題が見えました。

(7) ボランティアの活用状況

今年度もボランティア活動の受け入れを行い、園庭清掃、福祉バザーのボランティア活動を実施することができました。

所属等	人数	頻度	実施内容
海軍ボランティア	25名	年/8回	園内清掃
与那原町赤十字奉仕団	16名	年/1回	愛隣園第45回福祉バザー
与那原町商工会女性部	5名		
沖縄女子短期大学	1名		
知念高校	26名		
町民児協	5名		
沖縄キリスト教学院大学	4名		
沖縄福祉専門学校	3名		
育英義塾教員養成学校	1名		
首里教会	11名		
卒園者	1名		
元職員	1名		

(8) 関係機関との連携

家庭支援専門相談員を中心に、児童相談所、児童の家族に関わる関係機関や病院、保健師等と連携を図りました。ケースによっては、児童相談所とケース検討を行いました。

小・中学校並びに警察署とは、日頃の連携はもちろん、園児の情報交換や地域の子どもの状況について話し合うなど、情報の共有に努めました。今後も各関係機関との連携強化や児童への支援の充実に努めていきたいと思ひます。

アフターケアについても、障害者支援センターとの連携や沖縄県自立支援事業所「にじのしずく」など、必要に応じて関係機関と連携して対応してきました。また、継続して地域の児童デイを活用し、発達障害等を抱える児童にとっては個別に特別な活動ができています。

(9) 家庭復帰促進と小規模ケア

家庭支援専門相談員を中心に児童相談所や関係機関と連携のもと、保護者や親族との関わりを密にすることができ、親子交流を継続してきました。特に、直接連絡がとれない保護者に対しては手紙や写真の送付など、無理がないかたちで関係性が切れないよう配慮し、交流などが模索できるよう努めてきました。

年度途中で家庭復帰になったケースが4ケースでした。また、措置停止にて家庭復帰調整中のケースが4ケースあり、状況を見て家庭復帰として措置解除予定です。家庭復帰したケースについても、児童相談所や地域と連携しながら卒園後の状況把握に努め、必要に応じて支援を継続しています。複雑化する家庭状況もあり、家族の再統合の方法も多岐に渡ってきました。児童の視点に立ちつつ、適切なアセスメントができるよう取り組んでいきたいと思ひます。

FSWを中心に親との関係づくりを継続する中で、保護者も本音を言えるようになるケースもあり、継続して保護者や関係機関との連携を強化し、子どもたちの意見も反映しながら、「子どもたちの最善の利益」「家族の再統合」に向けて働きかけていきます。

また、虐待やDVケースにも関わらず、強く引き取りを要求してくる保護者もあり、関係性を構築しながら支援することが難しい状況もありました。今後このようなケースが増えると予想されるため、児童の安全な養育環境という視点を基本に、適切な支援と関係構築ができるよう児童相談所、各市町村との連携を強化しながら取り組んでいきたいと思ひます。

家庭支援専門相談員による家族等に対する年間の主な取組状況

家庭訪問	関係機関との連携	ケースのモニタリング会議	親への就労支援等	卒園児に対するアフターケア	親との面談(来所)
11回 (10ケース)	31回	23回 (44ケース)	5回 (3ケース)	4ケース	17回

(10) 被虐待児等地域療育支援・体制構築事業(こころサポート事業)の推進と評価

今年度も県内里親、FH(ファミリーホーム)を対象に療育コーディネーター及び心理士による面接、相談支援や各こころサポート事業所との連携により、研修などを企画し、里親、FH向けに発達障害の理解や養育について講師を招いて勉強会を実施しました。

里親、FH主催の連絡会や行事は可能な限り開催し、里親、FHの現状を把握する中で情報を共有しながら、各種制度についても情報提供を行いました。また、嘱託医のSV研修も可能な限り開催し、貴重なアドバイスや職員のエンパワメントに繋がっています。

心理士の育休に伴う代替職員の確保の難しさや、療育コーディネーターの離職に伴う職員配置など、安定した人員配置ができないことで、前年度よりも支援の数が減少することになりました。

こころサポート事業による主な年間の取組状況

里子への 児童面接 (相談員)	里子への心理 面接 (心理士)	里親宅訪問	連絡会・研修 会企画実施	嘱託医による ケース検討会・ 支援者面接	里親との面接 及び電話相談 等
8回 (4回)	30回 (30回)	3回	連絡会15回 研修企画 7回	検討会(9回9 ケース)	36回 (7ケース)

()内は当園児童の対応回数

(11) その他

人材育成について

実習生の受け入れ状況

	学校名	人数	期間
保育 実習	エルケア専門学校	2名	R6年7/1~7/14(10日間)
	沖縄女子短期大学	2名	R6年7/16~7/29(10日間)
		2名	R6年8/7~8/18(10日間)
	尚学院ビジネス アカデミー	2名	R6年11/11~11/22(10日間)
	沖縄福祉保育専門学校	1名	R7年1/6~1/10(11日間)
		1名	R7年2/3~2/15(11日間)
	キリスト教短期大学	1名	R7年2/17~2/28(10日間)
社会福祉 援助技術 実習	沖縄大学	1名	R5年6/25~9/29(200時間)
介護体験	沖縄国際大学	1名	R6年8/9~8/9
		1名	R6年8/12~8/16
		2名	R6年8/19~8/23
合計	7校	16名	

*今年度の実習も社会福祉援助技術実習の受け入れ体制を整え、1名の受け入れを実施し、プログラム内容についても大学側と共有しながら実習指導に取り組みました。

今後も、実習を人材育成、確保の大切な取り組みと位置づけ、積極的に養成校と連携していきます。

(12) 避難訓練実施状況

月	訓練計画内容	実施状況
R6年4月	避難訓練(日中)	通常避難訓練実施
5月	避難訓練(日中)	通常避難訓練実施
6月	避難訓練(日中)	通常避難訓練実施
7月	避難訓練(日中)	通常避難訓練実施・普通救命講習Ⅰ
8月	避難訓練(日中)	通常避難訓練実施
9月	避難訓練(日中)	避難訓練実施(早朝想定)
10月	避難訓練(夜間想定)	雨天、強風のため中止
11月	避難訓練(日中)	学校行事等あり、児童・職員不在のため中止
12月	避難訓練(日中)	非常ベル故障のため中止。警報機の勉強会を実施。
R7年1月	避難訓練(日中)	通常避難訓練実施
2月	総合防火・避難・消火訓練(日中)	避難訓練・消火訓練実施(消防署隊員立ち合い指導)
3月	通報・避難訓練(早朝・夜間想定)	避難・通報訓練実施(早朝・夜間想定)

*総合防火・避難・消火訓練の消防隊員の講評の中で、避難については児童、職員慣れているのでスムーズな避難であった。避難する際は、酸素を遮断した方がいいので窓などをわざわざ開けないように助言がある。

(13) 災害対策等について

今後、義務化が予定されているBCP計画(案)を策定し、児養協主催のBCP計画策定に係る研修に2名参加しました。今後、他施設と情報共有しながら、より現実的な指標となる内容になるよう見直しを進めているところです。

また、今年は防災時用の備品としてポータブル電源を各ホーム分購入しました。今後も実際の訓練ができるよう必要な備品の確認、準備を行い、実際の災害に備えていきたいと思います。

(14) 第三者評価

今年度は、第三者評価を受審しました。地域との繋がりやこどもの意見表明できる雰囲気、情報公開などは評価を受けましたが、単年度の事業計画に備品などの整備を盛り込み、こどもや保護者へも周知することや職員一人ひとりの育成(個別目標の設定)、こどものプライバシー保護規定、マニュアルを整備するよう指摘がありました。アンケート結果も踏まえ、全体で課題を共有して取り組んでいきたいと思います。

② 児童の月別在籍状況(各月初日現在)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均在籍数
男	21	21	21	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21
女	20	20	19	18	18	18	19	19	20	19	19	19	19
計	41	41	40	38	38	38	39	39	41	40	40	40	40

(地域小規模児童養護施設「こひつじの家」男子6名、「ともしびの家」女子6名、「あかりの家」男子5名含む)

③ 児童の養護原因別状況(2025年3月1日現在)

養 護 原 因			男	女	計	
①	家 出	父	0	0	0	
		母	0	0	0	
		父・母	0	0	0	
②	死 亡	父	0	0	0	
		母	0	0	0	
		父・母	0	0	0	
③	離 婚		0	0	0	
④	傷 病 (精神障害者を除く)	父	0	0	0	
		母	2	0	2	
		父・母	0	0	0	
⑤	家庭環境	虐 待	身体的虐待	4	1	5
			心理的虐待	2	4	6
			性的虐待	0	3	3
			ネグレクト	4	6	10
		その他	就労1 薬物1	経済的3 精神疾患4	6	5
⑥	そ の 他		3	0	3	
総 計			21	19	40	

④ 児童の学年別状況(2025年3月1日現在)

学年	小学生							中学校				高等学校				幼稚園児	保育園児	能力開発校	その他	合計
	一年	二年	三年	四年	五年	六年	小計	一年	二年	三年	小計	一年	二年	三年	小計					
男	1	0	0	1	1	2	5	0	3	4	7	4	3	1	8	1	0	0	0	21
女	1	1	1	1	2	2	8	2	2	3	7	0	1	3	4	0	0	0	0	19
計	2	1	1	2	3	4	13	2	5	7	14	4	4	4	12	1	0	0	0	40

⑤ 児童の出身地別状況(2025年3月1日)

出身地		男	女	計
①	那覇市	3	3	6
②	宜野湾市	1	2	3
③	与那原町	1	0	1
④	浦添市	0	1	1
⑤	名護市	0	0	0
⑥	糸満市	7	2	9
⑦	沖縄市	1	0	1
⑧	うるま市	2	3	5
⑨	南城市	0	1	1
⑩	豊見城市	3	3	6
⑪	嘉手納町	1	1	2
⑫	西原町	2	1	3
⑬	久米島	0	2	2
合 計		21	19	40

⑥ 児童の入退園状況
(2024年4月1日～2025年3月31日)

	入所	退所
男	2	1
女	4	8
計	6	9

⑦ 一時保護児の受け入れ状況
(2024年4月1日～2025年3月31日)

	中央児童相談所	コザ児童相談所
男	1	1
女	2	2
計	3	3

*3名は一時保護から措置となる。

⑧ 就進学状況 3月に中・高校を卒業して、就職又は進学をした児童は次のとおりである。

	性別	就 職	高校進学	就職進学	訓練校	大学・専門学校 進学	その他	合 計
中 学 生	男	0	3	0	0	0	0	3
	女	0	3	0	0	0	0	3
訓 高 練 校 生 生	男	1	0	0	0	0	0	1
	女	1	0	0	0	2	0	3

⑨ 児童の年度別入退園状況(2025年3月31日現在)

	入 園			退 園		
	男	女	計	男	女	計
1953年度	36	29	65	0	2	2
1954年度	10	12	22	11	14	25
1955年度	8	19	27	13	14	27
1956年度	9	7	16	8	4	12
1957年度	8	14	22	21	15	36
1958年度	25	10	35	3	9	12
1959年度	10	6	16	13	6	19
1960年度	7	3	10	11	5	16
1961年度	20	8	28	15	11	26
1962年度	7	12	19	7	6	13
1963年度	8	8	16	5	1	6
1964年度	2	8	10	3	4	7
1965年度	9	7	16	2	7	9
1966年度	12	11	23	3	4	7
1967年度	11	7	18	15	14	29
1968年度	8	9	17	6	5	11
1969年度	4	8	12	9	12	21
1970年度	11	11	22	18	12	30
1971年度	13	14	27	16	10	26
1972年度	11	10	21	17	11	28
1973年度	10	2	12	5	10	15
1974年度	13	6	19	8	4	12
1975年度	8	13	21	5	1	6
1976年度	9	6	15	18	12	30
1977年度	15	7	22	9	10	19
1978年度	8	12	20	15	16	31
1979年度	10	6	16	11	6	17
1980年度	6	3	9	6	6	12
1981年度	19	16	35	12	10	22

1982年度	7	0	7	7	11	18
1983年度	9	17	26	9	9	18
1984年度	8	3	11	8	9	17
1985年度	12	11	23	9	11	20
1986年度	13	6	19	12	6	18
1987年度	10	8	18	8	9	17
1988年度	11	11	22	13	5	18
1989年度	5	8	13	9	10	19
1990年度	13	11	24	10	12	22
1991年度	11	9	20	13	6	19
1992年度	9	12	21	17	15	32
1993年度	12	11	23	9	6	15
1994年度	11	6	17	4	11	15
1995年度	7	4	11	11	5	16
1996年度	6	9	15	7	6	13
1997年度	12	10	22	13	8	21
1998年度	11	7	18	6	9	15
1999年度	9	9	18	10	7	17
2000年度	8	4	12	7	4	11
2001年度	9	7	16	9	4	13
2002年度	5	5	10	4	5	9
2003年度	3	5	8	5	4	9
2004年度	2	1	3	4	12	16
2005年度	5	5	10	13	7	20
2006年度	10	11	21	8	9	17
2007年度	8	10	18	7	6	13
2008年度	6	1	7	12	7	19
2009年度	6	3	9	7	6	13
2010年度	1	1	2	2	3	5
2011年度	0	0	0	6	2	8
2012年度	4	8	12	7	7	14
2013年度	3	1	4	5	7	12
2014年度	7	5	12	3	6	9
2015年度	3	3	6	3	1	4
2016年度	2	3	5	0	0	0
2017年度	0	1	1	2	1	3
2018年度	1	0	1	1	1	2
2019年度	4	0	4	7	2	9
2020年度	0	2	2	3	5	8
2021年度	3	2	5	1	2	3
2022年度	5	5	10	3	1	4
2023年度	3	2	5	2	4	6
2024年度	2	4	6	1	8	9
合 計	603	525	1128	582	510	1092

⑩ 退園状況

	男	女	計
社会復帰	162	124	286
家庭復帰	343	296	639
養子縁組	14	20	34
措置変更	58	61	119
その他	5	9	14
合計	582	510	1092

⑪ 意見箱受付(苦情解決委員会報告)状況

相談内容	延件数(実数)	対応
図書館を開放してほしい	1	春休みなどに平日の午後を中心に開放して、ゲームやインターネットができるようにする。
AさんがBさんに暴力することがある。職員に相談したが対応していない。	1	訴えたCさんもAさんからに暴力的なことをされることがあり、Aさんへの不満は「物を返してもらえない」等の不満もある。その都度対応し、Aさんと面接しているが、他児に責任転嫁することが多い。発達に特性を抱える児童同士なので、丁寧に都度対応をしている。訴えのある職員は補助的な職員なので、主任等に報告して対応している状況を説明する。また、掲示板にて暴力的なことなどをしないような意識付けができる掲示を実施。児童会などでも、自分が嫌なことをされないことが大切であると共に相手にも同じ配慮が必要ということを全体に説明する。
施設から出たい	1	無記名のため、個別に面接が困難であるため、職員でこのような意見が出ていることを共有し、児童の言動など気になる児童の状況共有につとめる。また、守秘義務のもと、第三者委員とも面接可能であることも改めて児童全体に投げかける。
H先生がなんでも捨てるので困ってます。	1	職員と面談を実施。部屋の清掃で床に散乱しているゴミなどを処分することがあり、本児にとっては大切なものもあるかもしれないので、本人に確認をとりながら、部屋の保清や大切な物の扱い方についても話し合っていくことになる。
時間に間に合わなかったら食事を食べれないというルールはおかしい。	1	部活などの理由があれば安全に保管できるようにするが、長時間の取り置きに対する衛生面や一緒に食事を摂ることの大切さも含めてそのようなルールがあることを説明する。また、特に事情がある場合は職員に伝えることで配慮できることも改めて説明する。
夏休みにしたいこと ・プール ・本100冊買う ・水遊び ・おにごっこ ・かくれんぼ 。お泊り会 ・サッカー大会等	1	夏休みの行事として、キャンプ、図書館開放、スポーツ大会練習、参加、スイミング招待、アーティスト交流、遊びボランティア受け入れを計画し実施。

・ゲームがしたい。・おかし沢山ほしい。・わかくて美人でイケメンな先生がいい。・ホテルにいたい。・休日がひま。・お金が欲しい。・マンガ読みたい。	1	無記名で「愛隣園児童一同」とあるが、中学2年の女兒と推測されるので、その特性を踏まえ、希望通り掲示板にて返事を掲示する。
兄や弟と同じホームにしてほしい。	1	他ホームで生活していた弟が、地域小規模への異動となったため投書している。地域小規模での対応の必要性や目的などを本児に丁寧に説明する。
・夏休みの外泊は2泊がいい。 ・夏休みに園でプールしたい。 ・バーベキューしたい。 ・図書館開けてほしい。 ・先生たちとおにごっこしたい。 (何か対決して楽しみたいという意図であった)	1	・親子交流を調整し、2月実施する。 ・夏休みには平日に図書室を開放することを伝える。 ・スイミングスクールの招待にて本児を優先的に参加してもらう。 ・夏季キャンプにてバーベキューなどのメニュー立てが可能であることを伝える。 ・年度末のお別れ会にて、職員とドッジボールなどの交流を持つ企画を説明する。
ともしびに行きたい	1	理由を聞くと、二段ベッドが楽しそうだからという理由であった。地域小規模の目的を説明する。
Mが嫌ことをしていく。ストレスがたまったらどうするの？	1	面談する。その後はホーム担当職員にも相談できたとのことで、距離の取り方や困った時の職員への対応を確認する。良い距離感で関わられている様子。
・キャンプはともしびと一緒にいきたい。 ・ホーム三人一緒になりたい。(三名連名で投書)	1	以前三名一緒のホームであったが、その時は特に仲が良い感じではなかった。ほどよい距離にて関係性が良くなっているため、今のホームへ異動になった経緯や理由を丁寧に再度説明する。
今のホームであまり話し相手がいないから、他のホームに異動したい。	1	日頃は部活動等にてホームで他児と接触する時間は少ないので、週末に兄弟と共に親子交流を継続し、関係継続できるよう実施中。(他の理由で他ホームへの異動も訴えることもある)
合計	13	全ケースを苦情解決委員会に報告済

* 意見箱利用実数は5名、無記名1名となる。

⑫ 週間及び毎月の行事・会議

	行 事 ・ 会 議
週 間	・心理士・ホーム連絡会 ・FSW・ホーム連絡会 ・教会学校 ・苦情解決委員会(年4回) ・アドボケイト来訪
月 間	・職員全体会議 ・児童集会 ・全体労作 ・聖書勉強会 ・管理者連絡会 ・養護課会議 ・ホーム会議 ・防火避難訓練 ・ケース検討会等
毎 日	・朝会及び礼拝(月曜～金曜9:15～)

⑬児童の日課

時間	平 日		日曜日等の休日	
	幼 児	幼稚園・小学生・中学生以上		
6 : 3 0			7 : 0 0 起床	
7 : 0 0	起床・洗面			
7 : 4 5	朝食		8 : 0 0 朝食	
8 : 3 0	登園準備	登 校		
	園内保育園 登 園	学 校	9 : 0 0 日曜礼拝	
1 1 : 3 0	降 園 お昼寝 余暇時間 おやつ		幼稚園児下校 (火曜日は弁当)	部屋の片づけ (10 : 00～11 : 00) (夏休み等は午前 中学習時間)
1 2 : 0 0				
1 3 : 0 0				
1 5 : 0 0	入 浴 夕 食	下 校	おやつ 宿題・明日の準備 (小学生) 余暇時間	
1 8 : 0 0		入 浴		
1 9 : 0 0		夕 食		
2 0 : 0 0	就 寝 (絵本の読み 聞かせ)	余暇時間		
2 1 : 0 0		就 寝	学習時間 (中・高校生)	
2 2 : 0 0		就 寝 (消灯)		

⑭2024年度中に児童養護のために実施したおもなプログラム

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
4/1 (月)	9:10辞令交付式	暦	東浜地区清掃 小中学校始業式 中学校入学式
4/4 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議		
4/6 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
4/7 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
4/8 (月)			
4/9 (火)			
4/12 (金)	アドボケイト来園		
4/13 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
4/14 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
4/16 (火)	10:00～11:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～尾野DrSV		
4/17 (水)	アドボケイト来園		
4/20 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
4/21 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
4/26 (金)	アドボケイト来園 こいのぼり掲揚 避難訓練		
4/27 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
4/28 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
5/2 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議	暦 暦 暦	GWホーム行事 GW帰省等 憲法記念日 みどりの日 こどもの日
5/3 (金)	アドボケイト来園		
5/4 (土)			
5/5 (日)			
5/8 (水)	15:30～苦情解決		
5/9 (木)	13:30～管理者会議		
5/10 (金)	アドボケイト来園		
5/11 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
5/12 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
5/17 (金)	アドボケイト来園		
5/18 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
5/19 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
5/20 (月)	10:00～16:00監事監査		
5/21 (火)	10:00～11:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～尾野DrSV		
5/24 金	アドボケイト来園	暦	中学夏季大会 中学夏季大会 東浜地区清掃 中学夏季大会
5/31 金	アドボケイト来園 避難訓練		
6/1 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
6/2 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
6/3 (月)		暦	
6/4 (火)	9:00～15:30中央児相施設ケア・施設見学		

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
6/6 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議	九州児童福祉施設職員研究大会6/13迄(長崎・施設長、指導員2名、心理士1名)	
6/7 (金)	アドボケイト来園		
6/8 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
6/9 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
6/11 (火)			
6/14 (金)	10:00～15:00コザ児相施設ケア アドボケイト来園		
6/15 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
6/16 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
6/18 (火)	10:00～11:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～尾野DrSV		
6/20 (木)	9:30～簡易水道検査		
6/21 (金)	アドボケイト来園 避難訓練		
6/22 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
6/23 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
6/25 (火)	沖縄大学実習9/29(200時間)		
6/28 (金)	14:00～児童養護施設、乳児院、児相との連絡会 アドボケイト来園		
6/29 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
6/30 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
7/1 (月)	エルケア専門学校実習(7/14迄)	東浜地区清掃 児童養護協議会九州ブロック権利擁護セミナー(福岡・施設長、児童指導員2名) フレンドシップ事前研修(児童1名) 普通救命講習(17名受講) りゅうちゃん募金交付式(施設長) 沖縄県児童養護協議会初任者研修(指導員2名、保育士2名) 幼・小・中 一学期終了 幼・小・中 夏休み(8/25迄) 島尻支援学校総合文化祭(児童1名) 児童養護施設等夏季スポーツ大会(西崎)	
7/4 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議		
7/5 (金)	アドボケイト来園		
7/6 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
7/7 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
7/10 (水)	15:30～苦情解決委員会		
7/12 (金)	10:00～FCPアフターセッション アドボケイト来園		
7/13 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
7/14 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
7/16 (火)	10:00～11:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～尾野DrSV 女子短実習生(4名)8/18迄		
7/17 (水)			
7/18 (木)	13:30～管理者会議 沖縄女子短期大学実習(7/29迄)		
7/19 (金)	アドボケイト来園		
7/20 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
7/21 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
7/23 (火)			
7/26 (金)	アドボケイト来園 避難訓練		

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
7/27 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		フレンドシップ(児童1名)7/31迄
7/28 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
8/1 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議	暦	子どもじんぶん学校(児童1名)8/4迄
8/2 (金)	アドボケイト来園		よなばる祭り
8/3 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		よなばる祭り
8/4 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
8/7 (水)	沖縄女子短期大学実習8/18迄		
8/9 (金)	那覇市人権擁護委員会との交流会 アドボケイト来園 沖国大介護体験(4名)8/23迄		子どもじんぶん学校(児童1名)8/13迄
8/10 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
8/11 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		山の日
8/15 (木)	夏季帰省8/19迄		
8/16 (金)	アドボケイト来園		
8/17 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
8/18 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
8/20 (火)	9:15～11:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～尾野DrSV		
8/23 (金)	アドボケイト来園		
8/24 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
8/25 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
8/26 (月)			幼・小・中 一学期後半開始
8/30 (金)	アドボケイト来園 避難訓練		
8/31 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
9/1 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)	暦	東浜地区清掃
9/5 (木)	9:15～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議		
9/6 (金)	アドボケイト来園		
9/7 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
9/8 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		小・社会見学
9/13 (金)	アドボケイト来園		
9/14 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
9/15 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
9/16 (月)			敬老の日
9/17 (火)	9:15～10:00全体会議 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00尾野DrSV		
9/18 (水)			小・修学旅行
9/19 (木)			小・修学旅行
9/20 (金)	アドボケイト来園		
9/21 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
9/22 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		秋分の日
9/27 (金)	アドボケイト来園 避難訓練		
9/28 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
9/29 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
10/3 (木)	9:15～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議	暦	東浜地区清掃 社会福祉大会(理事長、施設長) ともしびの家キャンプ(伊江島・13日迄) 幼・小・中 秋休み16日迄 アドボケイト研修(施設長) スポーツの日 幼・小・中 二学期開始 児童養護施設長研究協議会(金沢・施設長24日迄) 修学旅行(中3・25日迄) 職場体験(中2・25日迄) 沖縄県児童養護研究大会(総合福祉センター・施設長、課長、指導員、保育士、心理士、個別対応、FSW、栄養士、調理員18名)
10/4 (金)	アドボケイト来園		
10/5 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
10/6 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
10/9 (水)			
10/11 (金)	ケースSV遠藤先生 アドボケイト来園		
10/12 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
10/13 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
10/14 (月)			
10/15 (火)	9:15～10:00全体会議 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00尾野DrSV		
10/17 (木)			
10/18 (金)	アドボケイト来園		
10/19 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
10/20 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
10/22 (火)			
10/23 (水)			
10/25 (金)	アドボケイト来園		
10/26 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
10/27 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
10/30 (水)			
11/1 (金)	アドボケイト来園	暦	文化の日 小・運動会 小・避難訓練 中・合唱コンクール
11/2 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
11/3 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
11/6 (水)	01:00～15:30中央児童施設ケア		
11/7 (木)	9:15～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議 13:30～管理者会議		
11/8 (金)	アドボケイト来園		
11/9 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
11/10 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
11/11 (月)	SIBA実習生11/22迄		
11/13 (水)	10:00～15:00コザ児相施設ケア		
11/15 (金)	アドボケイト来園		
11/16 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
11/17 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
11/19 (火)	9:15～10:00全体会議 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議		
11/21 (木)			小5宿泊学習
11/22 (金)	アドボケイト来園		小5宿泊学習
11/23 (土)	愛隣園福祉バザー		
11/24 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
11/29 (金)	アドボケイト来園		
11/30 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
12/1 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		東浜地区清掃
12/5 (木)	9:15～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議		
12/6 (金)	アドボケイト来園 9:30～理事会 横江弁護士施設見学		
12/7 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		9:00～自立支援プログラム
12/8 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		映画招待 幼・生活発表会 沖特祭
12/13 (金)	アドボケイト来園		
12/14 (土)	沖縄中小企業家同友会主催夢ケーキプロジェクト		
12/15 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
12/17 (火)	9:15～10:00全体会議 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議		
12/20 (金)	17:00～愛隣園クリスマス祝会		
12/21 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
12/22 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		小・学習発表会
12/25 (水)			幼・小・中 二学期前半終了
12/26 (木)			幼・小・中 冬休み1/5迄
12/27 (金)	アドボケイト来園		
12/28 (土)	大掃除 冬季帰省		
1/1 (水)	11:00～愛隣園新年会(児童)	暦	元旦
1/2 (木)			帰省できない児童のプログラム
1/6 (月)	11:30～愛隣園新年会(職員) 福祉保育実習(2名) 2/15迄		幼・小・中 二学期後半開始
1/8 (水)	9:30～県指導監査		
1/9 (木)	9:15～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議 13:00～管理者会議		
1/10 (金)	アドボケイト来訪		
1/11 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
1/12 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
1/13 (月)		暦	成人の日
1/15 (水)	14:00～苦情解決委員会		
1/17 (金)	アドボケイト来訪		
1/18 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
1/19 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		幼・生活発表会

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
1/21 (火)	9:15～10:00全体会議 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議		
1/24 (金)	アドボケイト来訪		
1/25 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
1/26 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
1/30 (木)	避難訓練		
1/31 (金)	アドボケイト来訪		
2/1 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
2/2 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		東浜地区清掃
2/3 (月)	福祉保育実習生8/18迄		
2/6 (木)	9:15～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議 13:00～管理者会議 総合避難・通報・消火訓練		
2/7 (金)	アドボケイト来訪		
2/8 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		児童養護施設等冬季スポーツ大会(南 城市)
2/9 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		小・中 授業参観日
2/10 (月)			全社協会長表彰伝達式
2/11 (火)			琉球コラソン観戦招待
2/13 (木)	第三者評価調査		
2/14 (金)	アドボケイト来訪		
2/15 (土)	けんぱ一のすば屋・そばの寄贈		ヘルプオキ・スーツ寄贈
2/16 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
2/18 (火)	9:15～10:00全体会議 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議		
2/20 (木)	不適切な関わりを防止する研修・遠藤先生SV		
2/21 (金)	愛隣園お別れ会		
2/22 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
2/23 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)	暦	天皇誕生日
2/28 (金)	アドボケイト来訪		
3/1 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		高校卒業式
3/2 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		東浜地区清掃
3/4 (火)			高校入試5日迄
3/5 (水)	職産業医面接		
3/6 (木)	9:15～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議		小・6年生を送る会
3/7 (金)	愛隣園壮行会(茶話会)		中・卒業式
3/8 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
3/9 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
3/13 (木)	14:00～管理者会議		島尻高等支援高等部卒業式
3/14 (金)	アドボケイト来訪		

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
3/15 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ	暦	
3/16 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
3/18 (火)	9:15～10:00全体会議 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議		高校合格発表
3/19 (水)			小・卒業式 高・修了式
3/20 (木)			春分の日
3/21 (金)	アドボケイト来訪		小・中 修了式、離任式
3/22 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		小・中 春休み4/7迄
3/23 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
3/25 (火)	13:00～理事会		
3/28 (金)	アドボケイト来訪 避難訓練		
3/29 (土)	10:00～首里教会土曜クラブ		
3/30 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
3/31 (月)	永年勤続表彰式		

4. 職員に関する事項

① 人 事

○非正規職員

〔採 用〕

保育士 3名

児童指導員 1名

補助員 1名

療育コーディネーター 1名

ここサポ心理士 1名

〔退 職〕

保育士 2名

児童指導員 2名
(契約満了1名)

療育コーディネーター 1名

ここサポ心理士1名

○正規職員

〔採 用〕

児童指導員 2名

〔退 職〕

保育士 2名

児童指導員 2名

*退職者の理由については、家族の都合が4名、傷病が3名、契約満了が1名、自己都合が2名でした。
年度途中で、非正規職員1名を正規登用しています。

② 職員の福利厚生事業の実施

名称	年月日	内 容	参加人数	経 費
福利厚生センターへの加入	1994年7月1日	健康生活給付、生活習慣病予防検診費用助成、入学お祝い品贈呈、永年勤続記念品贈呈、クラブ・サークル活動助成	43人	430, 000円
給与手当	2024年度	子ども手当	9人	766, 000円
健康診断		子宮・乳がん検診	11人	56, 834円
		人間ドッグ	21人	240, 539円
		インフルエンザ予防接種	6人	18, 500円

③研修の実施状況（施設内研修）

開催年月日	研修会名・研修内容	開催形態	講師名	参加者(施設・事業所職員)の職種	人数
2024/4/1～ 2024/10/30	初任研修・理念、歴史、事業計画、各規則、規程、各マニュアル、権利擁護ガイドライン、児童福祉法、虐待防止法、養護ハンドブック、OJT、勤怠管理)	対面(園内)	上江洲肇、金城幸光(勤怠管理等)、各主任(OJT)	児童指導員、保育士、栄養士	8名
2024年6月18日	ケース検討会(R.Yさん)・ケース情報共有、助言	対面(園内)	尾野勤子(外)	担当職員、心理士、個別対応	8名
2024年8月20日	ケース検討会(K.Nさん)・ケース情報共有、助言	対面(園内)	尾野勤子(外)	担当職員、養護課長、自立支援員、心理士	10名
2024年9月17日	ケース検討会(M.Iさん)・ケース情報共有、助言	対面(園内)	尾野勤子(外)	担当職員、養護課長、自立支援員、心理士、個別対応、FSW	9名
2024年10月20日	ケース検討会(K.Nさん)・ケース情報共有、助言	対面(園内)	尾野勤子(外)	担当職員、心理士、個別対応	7名
2024年11月19日	ケース検討会(Y.Kさん)・ケースの情報共有、助言	対面(園内)	尾野勤子(外)	担当職員、FSW、心理士、個別対応	8名
2024年12月9日	子どもの権利擁護から適切な支援の在り方 沖縄県版権利擁護ガイドラインについて	対面・オンデマンド(園内)	本村真(外) 上江洲肇	児童指導員	1名
2025年1月21日	ケース検討会(Y.Sさん)・ケースの情報共有、助言	対面(園内)	尾野勤子(外)	担当職員、心理士、個別対応	8名
2025年3月25日	ケース検討会(Y.Sさん)・ケースの情報共有、助言	対面(園内)	尾野勤子(外)	担当職員	4名

(施設外研修)

開催年月日	研修会名・研修内容	開催形態	講師名	参加者(施設・事業所職員)の職種	人数
2024/6/11～13	第71回九州児童福祉施設職員研究大会・中央情勢説明、基調講演(全国児童養護協議会の取り組み)、研究部会(社会的養護の歴史的背景から現在未来の姿を考える、我々にできる地域家庭支援とは、ケアニーズの高い子どもたちとどう向き合うか、当事者の視点から、明るい未来のために確かな現在をサポートする)、記念講演(自分の使命とは。生まれてきた意義。己を知る)、シンポジウム(朝から生討論。子どもの幸福と社会的養護の未来を育むために)	対面(長崎県)	小松秀夫、桑原教修、赤岩保博、佐々木佳一、花田悦子、露大輝、増沢高、坂口明夫、松本幸治	施設長、児童指導員、心理士	4名
2024年7月10日	全国児童養護協議会令和6年度養育・権利擁護セミナー(養育と権利擁護、実践発表とグループ討議)	対面(福岡県)	山田勝美	施設長、児童指導員	3名
2024年7月18日	令和6年度児童福祉施設職員初任者研修(権利擁護)・沖縄版権利擁護ガイドライン事例のロールプレイ演習及びグループ討議	対面(県総合福祉センター)	ファシリテーター: 各施設養護課長、主任	児童指導員・保育士	5名
2024/7/20～7/21	令和6年度九州地区里親研修大会(分科会:育ちを考える、必要な支援、ひとりにしない、これからのチーム養育、若者まんなか育ちを考える)	対面(熊本県)	和田朋幸、山田美輝、山川浩徳、ブリッジフォースマイル、くまもと里親FIKAちょこっと	ここサポ心理士	1名
2024/10/22/～24	第77回全国児童養護施設長研究協議会(基調報告、行政説明、パネルディスカッション、研究部会、シンポジウム)	対面(石川県)	桑原教修、小松秀夫、辻村友和、増沢高、横堀昌子、山田勝美、伊達直利、浅田浩司、小野善郎、薬師寺真、河尻恵	施設長	1名
2024年10月30日	第41回沖縄県児童養護協議会(行政説明、講演「子どもの最善の利益を踏まえた養育と権利擁護、研究部会:子どもの権利擁護と施設内ルールについて、発達特性を持つ児童への支援について、食事作りに注意する衛生管理について)	対面(京都府)	露大輝、大場信一、団士郎、長瀬正子、安保千秋、増沢高、空閑浩人、岩本俊也、伊部恭子、大橋和弘、石田賀奈子、大和謙二、早樫一男、桑原教修	施設長、保育士、指導員、調理員 (3名は発表参加)	18名
2025年3月7日	児童養護施設におけるBCP策定推進研修・自然災害の基礎知識・児童養護施設等の災害時対応とBCP基礎理解・グループ討議	対面(県社協)	宮地喜一	施設長、児童指導員、自立支援担当職員	3名

2024 年度ワークセンター愛の園事業実績報告

1. 事業概要について

指定障害福祉サービス事業所（多機能型事業所）として、就労継続支援 B 型事業（定員 34 名）、就労移行支援事業（定員 6 名）、共同生活援助事業（定員 9 名）、相談支援事業のサービス提供を行いました。今年度、就労継続支援 B 型事業については 40 名の利用実績となっており、前年度に引き続き 6 つの作業班でさまざまな業務内容に応じた訓練・支援を行いました。一方、就労移行支援事業については利用実績なしの状態推移しており、今後も利用ニーズの動向を見ながら新規事業の検討など総合的な見直しが必要です。

共同生活援助事業（定員男子寮 5 名、女子寮 4 名）は今年度、男子寮、女子寮ともに 1 名ずつの空きが出ましたが、年度途中でそれぞれのホームに新規の利用契約があり、現在は満床となっております。グループホームの利用ニーズについては利用者やそのご家族の高齢化に伴い年々関心が高まっており、今後、共同生活援助事業の整備拡大をしっかりと進めて行く必要があります。

相談支援事業所「じょいまーる」では、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業（以下計画相談という）と指定一般相談支援事業（以下委託相談という）を進めて参りました。計画相談では与那原町、西原町、南城市の 3 市町の方々を対象に今年度 98 件の契約件数があり、計画書の作成やモニタリング会議の開催等を行いました。また委託相談では与那原町の障がい者（知的・身体）及び障がい児の方々の日常生活や地域生活全般の相談を受けるサービスを受託し今年度は 47 件の相談実績がありました。次年度は新たに障がい者（精神）の受託に関しても与那原町から依頼があり、今後も地域福祉の推進に協力していけるよう引き続き相談員の人材育成・人材確保と定着を図り相談事業の機能強化に努め、地域に根差す社会福祉法人としての役割をしっかりと担って参りたいと思います。

2. 事業所運営について

1) 支援体制について

- ・就労継続支援 B 型事業は管理者、支援員等含め 12 名の職員体制で運営を進めることができましたが、年度末に 1 名の支援員が退職したため次年度に課題を残す結果となりました。また、共同生活援助事業（グループホーム）に関しては世話人の定着が図れず、1 名欠員状態のまま推移しました。前年度同様、人材確保・育成・定着にまだまだ課題の多い一年でした。

2) 作業科目について（就労継続支援B型事業・就労移行支援事業）

- ・公園班（与那原公園除草作業、ゆうゆう公園除草作業、町内4公園清掃作業）
- ・収集分別班（与那原町リサイクル資源物収集及び分別作業）
- ・家政A班（手芸品・リサイクル商品の受け取り及び売店での販売、花苗販売、無農薬野菜の販売）
- ・家政B班（リサイクル資源物の分別作業、室内作業、室内清掃・消毒）
- ・園芸班（販売及び植栽用花苗・鉢物・貸鉢用プランター作り）
- ・出向班（那覇市公園花壇植栽維持管理業務、沖縄教区霊園管理業務、県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理業務）

＊年間を通して、施設外就労訓練や作業訓練を利用者一人ひとりの障がい特性や心身の状態等に配慮して配置し、また利用者の意向も確認しながらそれぞれの班で意欲的に活躍できるよう個々のニーズに即した就労支援に努めました。

3. 利用者に関する事項について

1) 利用者の入退園の状況について

今年度は42名の利用契約者数でスタートしましたが、年度途中で2名の利用者が病気でお亡くなりになり、最終的に40名の利用実績となりました。

2) 利用者在園期間及び年齢について

在園期間15年以上の利用者が75%を占め、40歳代以上の割合も約79%となっており、加齢による身体機能や体力低下に対しての細やかな支援や提供プログラム等が課題になっています。また今年度は大病でお亡くなりになられた利用者も複数名おり、作業面のみでなく日々の体調管理や健康維持に係る支援の必要性も改めて痛感させられました。

3) 生産活動及び工賃支給状況について

家政班では、手芸品の製造と売店にてリサイクル商品や堆肥・土の販売等を行い、園芸班で育てた季節の草花も提供・販売することができました。2024年度も利用者の体調管理や安全対策（感染予防）の観点から、施設外就労や販売活動等も慎重な判断を要したため、就労支援事業収入にも多少マイナスの影響はありましたが、利用者一人当たりの月平均支給額、約30,000円を維持することができました。

4) 受託業務について

日本キリスト教団沖縄教区の霊園管理業務を始め、公共事業（那覇市公園花壇管理、県議会庁舎内花壇植栽維持管理、与那原町資源ごみ収集分別作業、与

那原町内公園 3 ヶ所の除草作業及び 4 公園のトイレ清掃作業) を受託し就労支援収入の大きな柱とすることができました。

4. 職員に関する事項について

1) 退職者 4 名、採用 3 名

2) 県外研修及び県内研修については、相談支援専門員を中心に、必要に応じて施設外開催の研修にも積極的に参加することができました。また、利用者に対する虐待防止や身体拘束等の取り扱いに関する職員の意識向上や業務継続計画（BCP）策定の義務化に伴う職員全体への周知を目的に、障害者虐待防止や BCP、食中毒・感染症等の蔓延防止に関する施設内研修も開催いたしました。

5. 2024 年度中に実施した主なプログラムについて

2023 年 5 月より新型コロナウイルスが 2 類から 5 類感染症に移行となり、政府による一律な感染対策から個人や事業所による自主的な判断を尊重する対策へと変わりましたが、利用者の健康管理や安全対策上、外部イベントや行事等への参加は慎重に判断しながら参加等を検討しました。反面、園内行事に関しては利用者、職員一丸となってお互いに知恵を出し合い創意工夫しながら多くの行事を開催することができました。それにより日々就労に勤しんでいる利用者さん同士お互いに労をねぎらいそれぞれにリフレッシュを図ることができました。

6. 共同生活援助事業について

グループホーム「愛さ」は 2014 年 3 月の事業開始から 10 年目となり、「美さ」は 2016 年 10 月の開所から 8 年目を迎えました。利用者一人一人の障がい特性や体調に合わせて、サービス管理責任者及び世話人や夜間支援員を中心に、担当職員や家族との連携のもと、基本的生活習慣の確立や身の回りの整理整頓、洗濯、調理指導など地域の中で自立をめざした支援に取り組んできました。平日は、各事業所で各々の日中活動に取り組み、活動後はグループホームに帰宅。土日祝日は、一時帰省や余暇支援等を利用し外出を楽しんだり、年数を重ねるごとに自由かつ主体的に過ごすことができます。現在、共同生活援助事業は男子棟と女子棟の 2 ホームのみの運営に留まっていますが、差し迫った課題である“利用者の高齢化”や“親なき後の生活”も見据え、障がいを持った方々やその家族が安心して日常生活を送れるようグループホームの増設にも着実に取り組んでいく必要があります。今後も利用者及び家族の様々なニーズに応えながら、地域の中で自立し安定した日常生活、社会生活が送れるよう関係

機関とも連携を図り、さらなる事業展開を進めて参りたいと思います。

7. 相談支援事業所「じょいまーる」について

2020 年 2 月に開所した相談支援事業所「じょいまーる」も事業開始から 4 年目を迎えました。与那原町、南城市、西原町の 3 市町の方々を中心に、障害福祉サービス等利用計画の作成及びモニタリングの実施や一般相談等のサービス提供を行ってきました。今年度、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業（計画相談）、指定一般相談支援事業（委託相談）の利用契約者及び対応実績総数は全体で 145 件となっており、計画相談に関しては契約件数が多数重なった月には一時新規の契約を抑えるなど現体制で対応可能な件数の調整等を行いました。また、今年度は与那原町指定一般相談支援事業（障がい児）の受託に加え、障がい者（知的・身体）の受託も開始することとなり、計画相談、委託相談ともに目まぐるしい一年となりました。それでも相談員 3 名体制で互いに連携し役割分担を細かく整理することで相談事業の基盤整備と機能強化を図ることができました。次年度は与那原町指定一般相談事業（障害者：精神）の受託も依頼されていることから、今後更なる相談機能の強化と相談支援専門員の人材育成・人材確保に努めて参りたいと思います。

8. その他

実習生の受け入れ等について

実習生の受け入れ状況

	学校名	人数	期間
施設実習	沖縄女子短期大学	4 名	R6.7/16～7/29（10 日間） R6.8/7～8/23（10 日間）

	学校名	人数	期間
就業体験実習	島尻特別支援学校	2 名	R6.6/3～6/14（10 日間） R6.10/21～11/1（10 日間）

	学校名	人数	期間
施設実習	沖縄福祉保育専門学校	1 名	R7.1/8～1/23（11 日）

施設の概要

1 事業の目的

障害者総合支援法にいう指定障害福祉サービス事業における、就労継続支援B型事業及び就労移行支援事業及び共同生活援助事業、相談支援事業の円滑な運営管理を図るとともに、キリスト教的愛の精神で常に利用者の立場に立った適切な支援の提供を目的とする。

2 施設開所年月日

1988年(昭和63年)4月1日

2009年(平成21年)10月1日・・・指定障害福祉サービス事業へ移行

3 設置主体及び経営主体 社会福祉法人基督教児童福祉会 愛隣園

4 施設の規模及び構造

(1) 敷地面積	4,399.50 m ²
(2) 建物の面積	床面積 746.89 m ²
(3) 建物の構造	鉄筋コンクリート造2階建

5 事業所の名称及び所在地

指定就労継続支援B型及び指定就労移行支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名 称 指定障害福祉サービス事業所 ワークセンター愛の園

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

指定共同生活援助を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名 称 グループホーム 愛さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡南風原町字本部434-11

名 称 グループホーム 美さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡与那原町字東浜86-2フォーレストSK101

指定特定相談支援及び指定障害児相談支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名 称 相談支援事業所 じょいまーる

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

6 提供する指定障害サービスの種類、利用定員及び主たる対象者

事業者が本事業において提供する指定障害福祉サービスの種類、利用定員及び主たる対象者は次のとおりとする。

指定障害福祉サービスの種類	利用定員	主たる対象者
就労継続支援B型事業	34名	知的・精神・身体障がい者
就労移行支援事業	6名	知的・精神・身体障がい者
共同生活援助事業	9名	知的・精神・身体障がい者
特定相談支援事業		知的・精神・身体障がい者、難病等
障害児相談支援事業		知的・精神・身体障がい児、難病等
一般相談支援事業(与那原町)		障がい者(知的・身体)、障がい児

7 作業科目

【就労継続支援B型】・【就労移行支援】

支援員 利用者

1	公園及び病院敷地内保清作業	公園班	1	3
2	リサイクル資源収集及び分別作業	収集分別班	4	16
3	手芸品製作及び常設売店販売担当	家政A班	2	6
4	公園トイレ清掃・下請作業	家政B班	1	4
5	販売用苗・鉢物・貸鉢用プランター作り	園芸班	1	6
6	那覇市等花壇植栽維持管理作業	出向班	1	5
計			10	40名

8 職員体制

	就労移行支援	就労継続支援B型	共同生活援助	相談支援
管理者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)
サービス管理責任者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	—
生活支援員	1名	1名	—	—
職業指導員	1名	6名(1名兼務)	—	—
就労支援員	1名	1名(兼務)	—	—
目標工賃達成指導員	—	1名	—	—
事務員	—	1名	—	—
世話人	—	—	5名	—
夜間支援員	—	—	2名	—
相談員	—	—	—	3名(1名兼務)
送迎運転手	—	1名	—	—

9.利用者に関する事項

〔1〕入退園の状況(就労継続支援B型・就労移行)

本年度内における利用者の入退園の状況は下記のとおりである。

	入園	退園
男	0	1
女	0	1
計	0	2

〔2〕在所期間の状況(就労継続支援B型・就労移行)

2025年3月31日現在

期間 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計
男	0	1	2	3	1	18	25
女	0	1	1	0	1	12	15
合計	0	2	3	3	2	30	40
割合	0%	5%	9%	8%	5%	75%	100%

〔3〕月別皆勤者数【平均 26 人】 62.6%

2025年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
合計	21	28	27	18	26	23	29	29	27	28	29	27	26
在籍数	42	42	42	42	42	42	42	42	42	40	40	40	41.5

〔4〕退園者の状況

2025年3月31日現在

性別	就職	解除	変更	計
男	0	1	0	1
女	0	1	0	1
合計	0	2	0	2

〔5〕利用者の年齢別状況【平均48.2歳】

2025年3月31日現在

性別	20才未満	20～29	30～39	40～49	50以上	計
男	0	1	4	5	15	25
女	0	1	3	3	8	15
計	0	2	7	8	25	40
割合	0%	5%	18%	20%	59%	100%

〔6〕障害種別

(就労継続支援B型・就労移行)

	知的	精神	身体	計
男	23	1	0	24
女	15	1	0	16
計	38	2	0	40

(共同生活援助)

	知的	精神	身体	計
男	5	0	0	5
女	4	0	0	4
計	9	0	0	9

(計画相談)

	知的	精神	身体	障害児	難病	その他	計
男	9	9	4	30	1	0	53
女	10	10	3	21	1	0	45
計	19	19	7	51	2	0	98

(委託相談)

	知的	身体	障害児	その他	計
男	3	6	14	3	26
女	4	6	5	6	25
計	7	12	19	9	47

〔7〕地域別状況

(就労継続支援B型・就労移行)

	那覇市	浦添市	南城市	西原町	南風原町	与那原町	計
男	7	3	6	4	1	4	25
女	5	2	5	1	1	1	15
計	12	5	11	5	2	5	40

(共同生活援助)

	那覇市	南城市	浦添市	西原町	計
男	1	2	1	1	5
女	2	2	0	0	4
計	3	4	1	1	9

(計画相談)

	与那原町	西原町	南城市	その他	計
者	25	7	12	3	47
児	24	15	12	0	51
計	49	22	24	3	98

〔8〕施設外就労訓練

	施設外就労 那覇市 与儀公園 県議会庁舎	施設外就労 与那原町 与原公園 ゆうゆう公園	施設外就労 与那原町 上の森公園 親水公園	計
男	3	2	2	7
女	2	2	2	6
計	5	4	4	13

〔9〕苦情解決相談受付

苦情内容	件数	対応
利用者間のトラブル	4件	苦情申し出のあった利用者本人とクレームを受けた利用者の双方から個別に事情を聴取し、状況の確認と問題点の整理を行った。今後の対応に改善が必要なケースに関しては問題行動の指摘や環境整備等を行った。意見の食い違いや誤解からトラブルが生じたケースに関しては、それぞれの言い分や思いを丁寧に説明し、双方が互いに理解しあえるよう関係調整に努めた。
支援員に対する苦情	1件	作業で同じペアを組む支援員と利用者の会話のやり取りで不適切な発言があったことが確認された為、支援課長が介入し当該支援員に対し注意・指導と今後の対応について助言を行う。苦情解決委員会にて報告し、問題の整理や今後の対応について第三者委員よりアドバイスを頂く。苦情申し出のあった利用者に対してはその後の対応と結果について報告する。

〔10〕年度別工賃支給状況

(単位:千円)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
生産活動収入	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194	29,733	27,925	28,759	28,069
工賃支給総額	12,342	12,545	12,609	12,122	12,420	12,746	12,833	13,404	13,447	12,941	13,170
月平均支給額	22	24	26	26	26	26	26	26	26	30	30
平均利用者数	45人	42人	42人	40人	39人	41人	41.9人	42.5人	42.7人	35.3人	36.1人

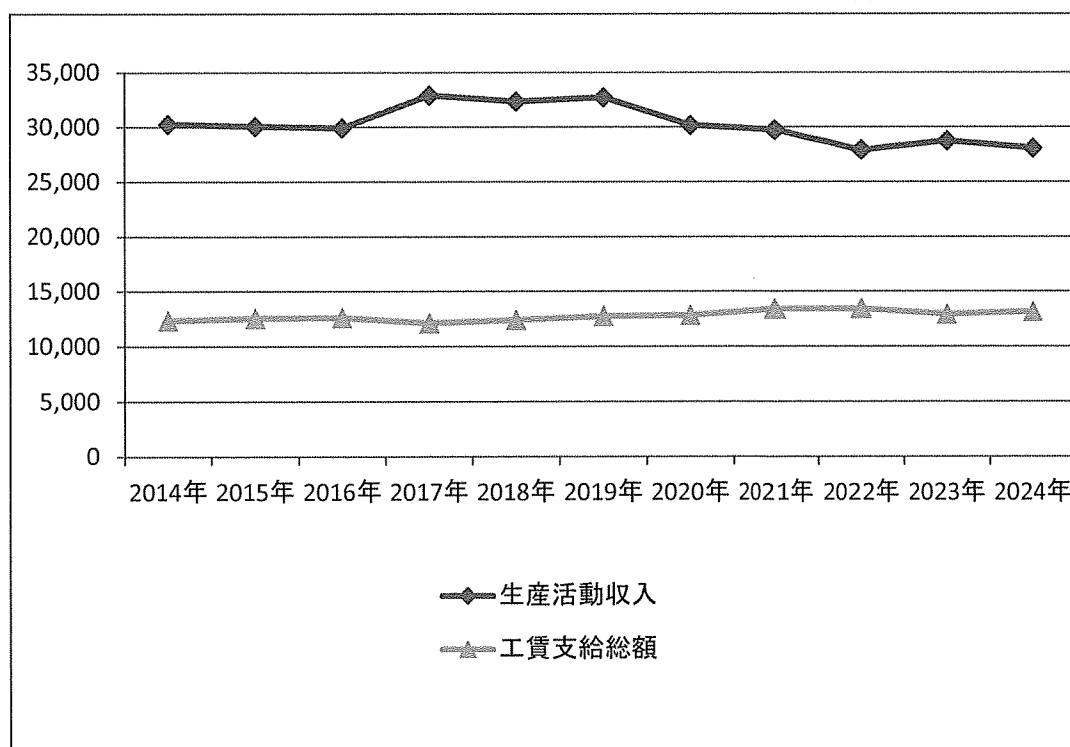
〔11〕生産活動収入

(単位:千円)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
園芸・出向	6,282	5,574	4,934	7,008	5,678	6,243	6,066	6,067	4,390	5,431	4,768
公園・公園管理	3,163	3,373	3,731	4,609	5,599	3,743	2,983	2,854	2,776	2,756	2,906
収集分別 家政・売店	20,816	21,123	21,246	21,291	21,061	22,749	21,145	20,812	20,758	20,571	20,394
計	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194	29,733	27,925	28,759	28,069

※ 生産活動収入 及び 工賃支給総額グラフ

(単位:千円)



〔12〕受託作業契約事業

2025年3月31日現在

	受託先	作業内容	職員	利用者	開始年月日	継続	
1	日本キリスト教団沖縄教区	霊園及び花壇植栽維持管理作業 〔週3回〕	1	5	1988年10月 (S63)	37	年
2	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内の草刈・清掃 〔通年〕	1	4	1989年7月 (H1)	36	年
3	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内公衆トイレ清掃作業〔週3回〕	1	4	1991年8月 (H3)	34	年
4	琉球銀行中部支店9店舗	貸鉢プランター 〔2ヵ月に1度〕	1	6	1993年4月 (H5)	32	年
5	那覇市役所 (公園管理課)	与儀公園 花壇花卉植栽維持管理作業〔通年〕	1	5	1993年7月 (H5)	32	年
6	与那原町役場 (生活環境安全課)	町内リサイクル資源収集分別作業〔通年〕	4	19	1997年4月 (H9)	28	年
7	沖縄県	県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理 〔随意契約〕 2024. 9/1～2025. 3/31	1	5	2020年6月 (R2)	4	年

〔13〕売店

	作業内容
1	じょいまーる(常設売店)
	無農薬野菜、ドリンク類、古着、手芸品、食器等

10. 職員に関する事項

退職	施設長(定年退職)	1名	世話人	2名	計4名
	職業指導員(非正規)	1名			
採用	職業指導員(非正規)	1名	世話人	2名	計3名

〔県外研修〕

実施日	研修会名	場所	参加者	備考
7月11日	全国知的障害関係施設長大会	東京都	1名	

〔県内研修〕

実施日	研修会名	場所	参加者	備考
1 5月23日	避難確保計画・BCPに関する勉強会(第1回)	与那原町	1名	
2 6月24日	避難確保計画・BCPに関する勉強会(第2回)	与那原町	1名	
3 7月8日	第55回九州地区知的障害関係施設職員研修大会	那覇市	2名	2日間
4 9月2日	主任相談支援専門員養成研修(eラーニング)	オンライン	1名	
5 9月5日	社会福祉施設等における災害時業務継続計画(BCP)策定・運用研修会	オンライン	1名	
6 9月10日	権利擁護研修	那覇市	1名	
7 9月11日	刈払い機講習	那覇市	1名	
8 9月24日	主任相談支援専門員養成研修	オンライン	1名	2日間
9 10月9日	第67回沖縄県社会福祉大会	宜野湾市	1名	
10 10月12日	第8回沖縄フォーラム“生き残れ”	恩納村	1名	
11 10月24日	令和6年度沖縄県精神障害者の地域移行関係職員に対する研修	うるま市	1名	
12 11月1日	令和6年度地域生活支援拠点等整備・運営に関する関係職員向け研修会	那覇市	2名	
13 11月8日	相談支援事業所の法人管理者向け研修会	うるま市	1名	
14 11月19日	相談支援専門員現任研修	オンライン	1名	
15 12月6日	沖縄県知的障害者福祉協会研修“施設の実際を学ぶ”	北谷町	1名	
16 12月10日	療育における5領域を踏まえた個別支援計画作成のポイント	豊見城市	1名	
17 12月12日	障がいのある方への消費者トラブル対策研修	那覇市	2名	
18 12月14日	犯罪・非行行為や依存症などからの生き直しプロセス	糸満市	1名	
19 12月17日	避難行動要支援者個別計画作成委託業務説明会	南城市	1名	
20 12月18日	相談支援専門員現任研修	オンライン	1名	2日間
21 1月9日	令和6年度障害者虐待防止・権利擁護研修	那覇市	1名	
22 1月23日	令和6年度安全運転管理者講習	浦添市	1名	
23 1月24日	令和6年度障害者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	2名	
24 1月30日	こどものSOSをどう受け止めるか	与那原町	1名	
25 1月31日	沖縄県地域生活拠点事業研修会	オンライン	2名	
26 1月31日	沖縄県居住支援シンポジウム	沖縄市	1名	
27 2月1日	第24回アクションフォーラム“皆で考えよう依存症”	浦添市	1名	
28 2月20日	障がい者差別・合理的配慮に関する相談員研修	那覇市	2名	
29 “	障がい者防災ミーティング「地域防災～私たちができること・すべきこと」	南風原町	1名	
30 2月27日	第4回就労移行等情報交換会	糸満市	1名	

○ 年間プログラム

4月	春のピクニック
5月	
6月	
7月	海水浴&バーベキュー 避難訓練
8月	
9月	ショッピング
10月	第31回ゆうあいスポーツ大会
11月	首里教会バザー 健康診断 第45回愛隣園福祉バザー
12月	愛の園・保護者会合同忘年会 クリスマス祝会
1月	新年会 新春ボーリング大会
2月	よなばるてくてくウォーク 故宮城 崇さん お別れ会
3月	宜野湾セミナーハウスバザー 内科検診 避難訓練 激励感謝会

○ 月間プログラム

曜日	内容	担当
第1営業日	体重測定・グループホーム連絡会	利用者 サビ管・世話人
第1木曜日	聖書勉強会	利用者・職員
第2水曜日	職員会議	職員
適宜	企画会議	管理者・主任
第4金曜日	支援会議	職員
隔月第3又は第4土曜日	園内行事等	利用者・職員
適宜	保護者会	管理者・保護者

○ 日課プログラム

8:30	～	出勤・着替・職員ミーティング
8:40	～	朝会
8:50	～	作業開始
12:00	～	昼食・休憩
13:00	～	午後の作業
15:00	～	休憩
15:15	～	道具の後片づけ
15:30	～	作業終了・送迎サービス(第1グループ出発)
16:00	～	退勤・送迎サービス(第2グループ出発)
17:00	～	グループホーム美さ送迎

11. 2024年度中に実施した主なプログラム

	プログラム	実習生受入・事業所見学他
4/1 (月)	・体重測定 ・辞令交付式 ・GH連絡会	
4/4 (木)	・聖書勉強会	
4/5 (金)	・おしゃれクラブ ・工賃支給日	
4/10 (水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
4/11 (木)	・管理者会議	
4/24 (水)	・BCP策定委員会	
4/25 (木)	・虐待防止、身体拘束等適正委員会	
4/26 (金)	・支援会議	
4/27 (土)	・春のピクニック	
5/1 (月)	・体重測定 ・GH連絡会	
5/2 (火)	・聖書勉強会 ・工賃支給日	
5/7 (火)	・管理者会議	
5/8 (水)	・職員会議	
5/24 (金)	・支援会議	・島尻特別支援学校実習生訪問
6/3 (月)	・体重測定 ・GH連絡会	・島尻特別支援学校実習生受け入れ
6/5 (水)	・工賃支給日	
6/6 (木)	・聖書勉強会	
6/7 (金)	・おしゃれクラブ ・管理者会議	
6/12 (水)	・職員会議	
6/14 (金)		・島尻特別支援学校実習生最終日
6/15 (土)	・ワークセンター愛の園保護者会総会	
6/28 (金)	・支援会議	
7/1 (月)	・体重測定 ・GH連絡会	
7/4 (木)	・聖書勉強会	
7/5 (金)	・おしゃれクラブ ・工賃支給日	・沖縄女子短期大学実習生オリエンテーション
7/10 (水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
7/13 (土)	・海水浴&バーベキュー	
7/16 (火)		・沖縄女子短期大学実習生2名受け入れ
7/18 (木)	・管理者会議	
7/24 (水)	・避難消火訓練	
7/26 (金)	・支援会議	
7/29 (月)		・沖縄女子短期大学実習生最終日
8/1 (木)	・体重測定 ・聖書勉強会 ・GH連絡会	
8/2 (金)	・おしゃれクラブ	
8/5 (月)	・工賃支給日	
8/7 (水)		・沖縄女子短期大学実習生2名受け入れ
8/8 (木)	・管理者会議	
8/14 (水)	・職員会議	
8/23 (金)	・支援会議	・沖縄女子短期大学実習生最終日
9/2 (月)	・体重測定 ・GH連絡会	

9/5	(木)	・聖書勉強会 ・工賃支給日	
9/6	(金)	・おしゃれクラブ	
9/7	(土)	・ショッピング	
9/11	(水)	・職員会議	
9/20	(金)	・管理者会議	
9/27	(金)	・支援会議	
10/1	(火)	・体重測定 ・GH連絡会	
10/3	(木)	・聖書勉強会	
10/4	(金)	・工賃支給日	
10/5	(土)	・第31回ゆうあいスポーツ大会	
10/9	(水)	・職員会議	
10/10	(木)	・管理者会議 ・苦情解決委員会	
10/11	(金)	・おしゃれクラブ	
10/21	(月)		・島尻特別支援学校実習生1名受け入れ
10/25	(金)	・支援会議	
11/1	(金)	・体重測定 ・GH連絡会	・島尻特別支援学校実習生最終日
11/5	(火)	・沖縄県広域地震、津波訓練 ・工賃支給日	
11/7	(木)	・聖書勉強会 ・管理者会議	
11/8	(金)	・おしゃれクラブ	
11/13	(水)	・職員会議	
11/22	(金)	・利用者健康診断	
11/23	(土)	・第45回愛隣園福祉バザー	
11/29	(金)	・支援会議 ・BCP研修	
12/2	(月)	・体重測定・GH連絡会	
12/3	(火)	・令和6年度障害福祉サービス事業所等指導実施	
12/5	(木)	・聖書勉強会 ・管理者会議 ・工賃支給日	
12/7	(土)	・ワークセンター愛の園保護者会合同忘年会	
12/11	(水)	・職員会議	
12/12	(木)		・沖縄福祉保育専門学校保育実習Ⅰ指導者連絡会
12/18	(水)		・沖縄福祉保育専門学校実習生オリエンテーション
12/20	(金)	・おしゃれクラブ ・クリスマス会 ・支援会議	
12/27	(金)	・仕事納め ・お疲れ様会	
1/6	(月)	・仕事始め ・体重測定 ・GH連絡会 ・新年会 ・工賃支給日	
1/8	(水)	・職員会議	・沖縄福祉保育専門学校実習生1名受け入れ
1/9	(木)	・聖書勉強会 ・管理者会議	
1/15	(水)	・苦情解決委員会	
1/17	(金)	・おしゃれクラブ	
1/18	(土)	・新春ボーリング大会	
1/23	(木)		・沖縄福祉保育専門学校実習生最終日
1/24	(金)	・支援会議	
1/30	(木)	・障害のある方のデンタルフェア(3名参加)	

2/2 (日)	・第17回よなばるてくてくウォーク	・沖縄女子短期大学実習生担当者情報交換会
2/3 (月)	・体重測定 ・GH連絡会	
2/5 (水)	・工賃支給日	
2/6 (木)	・聖書勉強会 ・管理者会議	
2/7 (金)	・おしゃれクラブ	
2/12 (水)	・職員会議	
2/19 (水)		
2/28 (金)	・支援会議	
3/3 (金)	・体重測定 ・GH連絡会	
3/5 (水)	・工賃支給日	
3/6 (木)	・聖書勉強会	
3/7 (金)	・おしゃれクラブ	
3/12 (水)	・職員会議	
3/13 (木)	・利用者内科検診 ・管理者会議	
3/15 (土)	・激励感謝会	
3/19 (水)	・避難消火訓練	
3/28 (金)	・支援会議	